

DENON®

CEOL

Network CD Receiver RCD-N12

取扱 説明書

目次

使用上のご注意	7
携帯電話使用時のご注意	7
お手入れについて	7
結露(つゆつき)について	7
換気についてのご注意	7
移動させるときのご注意	7
付属品	8
乾電池の入れかた	9
リモコンの使いかた	9
各部の名前	10
フロント/トップパネル	10
リアパネル	13
リモコン	15

接続のしかた	
スピーカーを接続する	20
スピーカーケーブルを接続する	20
スピーカーを接続する	21
サブウーハーを接続する	21
パワードスピーカーを接続する	22
デジタル機器を接続する	23
アナログ機器を接続する	24
USB 端子に USB メモリーを接続する	25
FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する	26
ホームネットワーク(LAN)に接続する	28
有線 LAN	28
無線 LAN	29
電源コードを接続する	30

再生のしかた

基本操作	32
電源を入れる	32
電源をスタンバイにする	32
入力ソースを選ぶ	33
音量を調節する	33
一時的に音を消す(ミュート)	33
インターネットラジオを聴く	34
インターネットラジオを聴く	35
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	36
パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する	37
USB メモリーを再生する	39
USB メモリーに保存されているファイルを再生する	40
Bluetooth 機器の音楽を聴く	42
Bluetooth 機器の音楽を聴く	43
2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする	44
Bluetooth 機器から本機に再接続する	45
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	46
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	47
Bluetooth ヘッドホンに再接続する	48
Bluetooth ヘッドホンを切断する	48

HEOS アプリをダウンロードする	49
HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載機器をセットアップする	50
HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する	51
HEOS アカウント	52
ストリーミング音楽サービスを再生する	53
同じ音楽を複数の部屋で聴く	56
CD を再生する	60
CD を再生する	60
好みの順序で再生する(プログラム再生)	62
データ CD を再生する	63
ファイルを再生する	64
FM 放送または AM 放送を聴く	66
FM 放送または AM 放送を聴く	66
受信モードを変更する(チューニングモード)	67
FM/AM 放送局をプリセットする	67
FM 放送局を自動的にプリセットする(オートプリセット)	68
プリセットリストに登録した放送局を聴く	68
プリセットリストから放送局を削除する	69

デジタル入力を再生する	70
アナログ入力を再生する	72
AirPlay 機能	73
iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する	74
Windows パソコンの曲を本機で再生する	74
iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)	75
Spotify Connect 機能	76
Spotify の曲を本機で再生する	76
便利な機能	77
HEOS お気に入り再生を再生する	78
HEOS お気に入りに追加する	78
HEOS お気に入りを削除する	79
ディスプレイの明るさを切り替える	79
スリープタイマーを設定する	80
現在の時刻を確認する	80
クイックセレクト機能	81

設定のしかた

設定メニュー 一覧	82
設定メニューの操作のしかた	84
文字入力	85
数字ボタンで入力する	85
カーソルボタンで入力する	86
オーディオ	87
SDB/Tone	87
音量の上限	87
H/P アンプゲイン	88
スピーカーの最適化	88
テレビ	89
テレビ入力	89
HDMI パワーオフコントロール	90
一般	91
アラーム	91
時計	92
時計モード	93
赤外線コントロール	93
CD の自動再生	94
言語	94
オートスタンバイ	94
情報	95
リセット	95

ネットワーク	96
ネットワーク情報	96
Wi-Fi	96
Bluetooth	97
ネットワーク制御	98
AirPlay 設定	98
ルーターの WPS ボタンを使ってネットワークに接続する	99

困ったときは

こんなときの解決方法	101
故障かな？と思ったら	103
電源が入らない / 電源が切れる	104
LED が点滅している	104
リモコンで操作ができない	106
本機のディスプレイが表示されない	106
音がまったく出ない	107
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	108
希望する音が出ない	110
AirPlay 再生ができない	111
USB メモリーが再生できない	112
USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	113
Bluetooth が再生できない	113

インターネットラジオが再生できない	116
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない (ミュージックサーバー)	117
各種オンラインサービスが再生できない	118
無線 LAN ネットワークに接続できない	118
ディスクが再生できない	119
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)	120
入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる	120
HDMI コントロール機能がはたらかない	120
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	121
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す	122
ファクトリーリストア	123
保証と修理について	124

付録

ディスクの再生について	126
ファイル	126
ファイルの再生順番について	127
フォルダとファイルについて	128
USB メモリーの再生について	129
メディア使用時のご注意	131
ディスクの入れかた	131
メディアの取り扱いについて	132
ディスクのお手入れのしかた	132
デジタル入力	133
Bluetooth 機器の再生について	133
パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について	134
インターネットラジオの再生について	135
ラストファンクションメモリー	135
HDMI について	136
用語の解説	137
登録商標について	141
主な仕様	142
索引	147

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露(つゆつき)について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部)に水滴が付くことがあります(結露)。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1～2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させる時のご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。



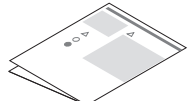
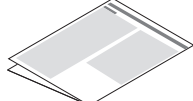

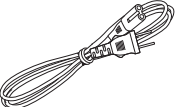
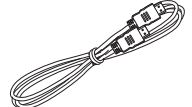
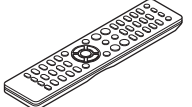



お買い上げいただきありがとうございます。

本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに「安全にお使いいただくために」・「保証書」とともに大切に保管してください。

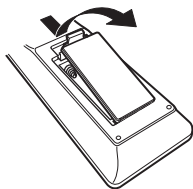
付属品

ご使用になる前にご確認ください。

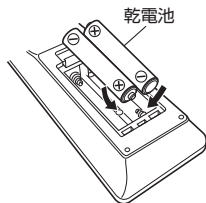
 <p>かんたんスタートガイド</p>	 <p>取扱説明書(本書)</p>	 <p>安全にお使いいただくために</p>	 <p>電波に関するご注意</p>
 <p>保証書</p>	 <p>電源コード 【本機専用】</p>	 <p>HDMIケーブル</p>	 <p>リモコン (RC-1255)</p>
 <p>単4形乾電池(2本)</p>	 <p>FM室内アンテナ</p>	 <p>AMループアンテナ</p>	

乾電池の入れかた

- 1 裏ぶたを矢印の方向に引き上げる。



- 2 乾電池(2本)を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



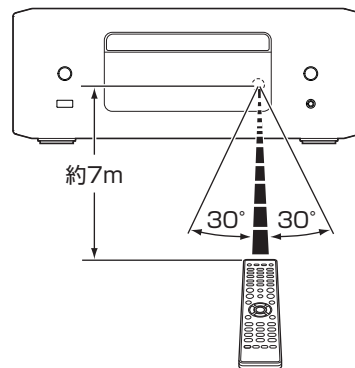
- 3 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

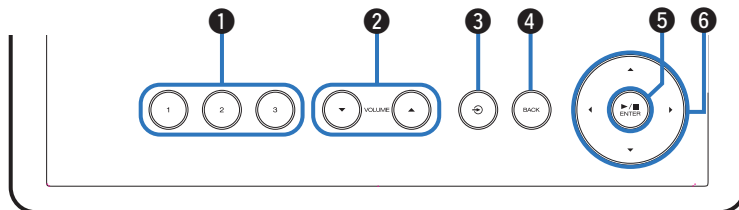
リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



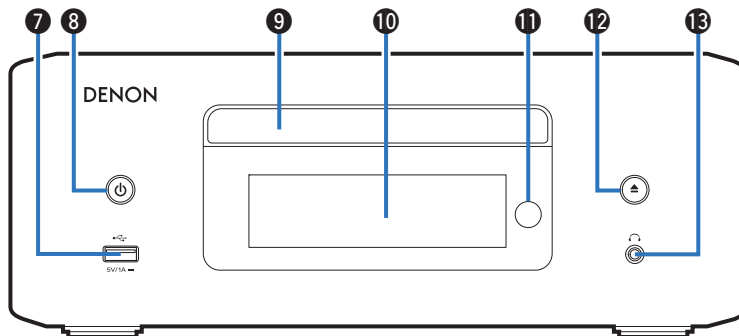
各部の名前

フロント/トップパネル

【トップパネル】

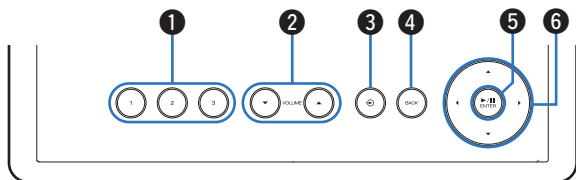


【フロントパネル】

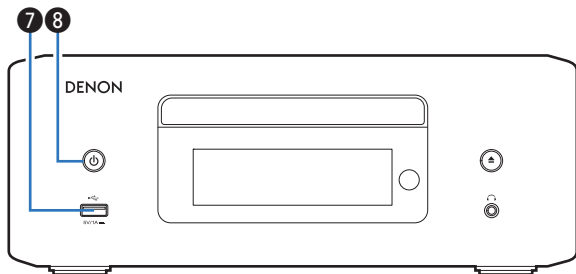


詳しくは、次のページをご覧ください。

【トップパネル】



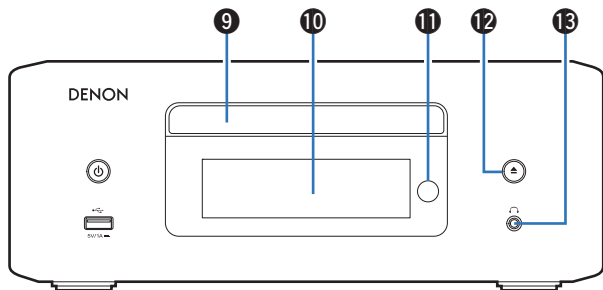
【フロントパネル】



- 1 クイックセレクトキー (QUICK SELECT 1~3)**
それぞれのキーに入カソース、音量および設定メニューの“SDB/Tone”などの複数の設定をあらかじめ登録することで、登録した設定にワンタッチで切り替えられます。(P.81 ページ)
- 2 音量調節キー (VOLUME ▲▼)**
音量を調節します。
- 3 入カソース切り替えキー (SDB/Tone)**
入カソースを切り替えます。

- 4 バックキー (BACK)**
ひとつ前の項目に戻ります。
 - 5 再生/一時停止/エンターキー (▶/■/ENTER)**
曲の再生と一時停止、および選択した内容の確定をします。
 - 6 カーソルキー (▲▼◀▶)**
項目を選択します。
 - 7 USB 端子 (USB)**
USB ストレージ (USB メモリーなど) を接続します。(P.39 ページ)
 - 8 電源ボタン (⏻)**
電源をオン/オフ (スタンバイ) します。(P.32 ページ)
- 電源表示**
電源の状態によって、次のように点灯します。
- 白色: 電源オン時
 - 消灯: スタンバイ時

【フロントパネル】



- ⑨ ディスクトレイ
ディスクを挿入します。(☞131 ページ)
- ⑩ ディスプレイ
各種情報を表示します。
- ⑪ リモコン受光部
リモコンからの信号を受信します。(☞9 ページ)
- ⑫ ディスクトレイ開閉ボタン(▲)
ディスクトレイを開閉します。(☞60 ページ)

⑬ ヘッドホン端子(🎧)

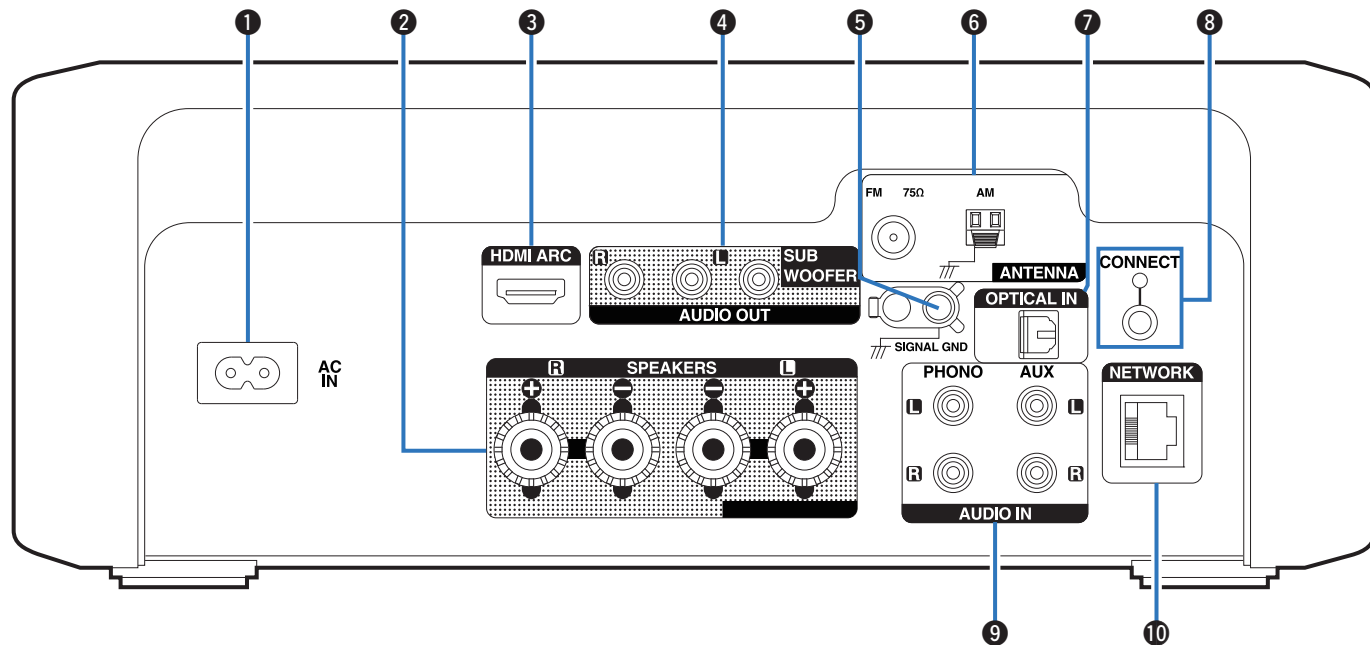
ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカー端子およびアナログ音声出力端子(サブウーハー端子を含む)から音が出なくなります。

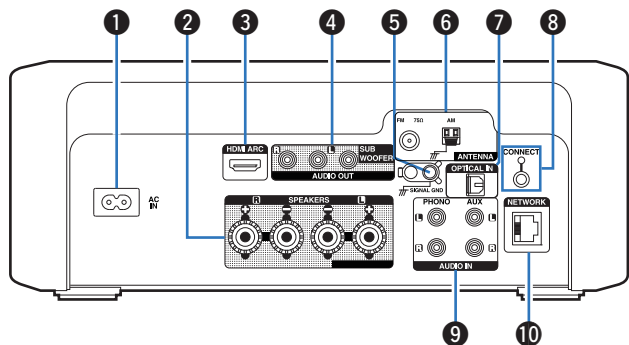
ご注意

- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

リアパネル



詳しくは、次のページをご覧ください。



① AC インレット(AC IN)

電源コードを接続します。(☞ 30 ページ)

② スピーカー端子(SPEAKERS)

スピーカーを接続します。(☞ 20 ページ)

③ HDMI 端子(HDMI ARC)

ARC 機能対応のテレビを接続します。(☞ 23 ページ)

④ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)

サブウーハーやパワードスピーカーを接続します。

- 「サブウーハーを接続する」(☞ 21 ページ)
- 「パワードスピーカーを接続する」(☞ 22 ページ)

⑤ アース端子(SIGNAL GND)

レコードプレーヤーのアース線を接続します。(☞ 24 ページ)

⑥ アンテナ端子(ANTENNA)

FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続します。(☞ 26 ページ)

⑦ 光デジタル音声入力端子(OPTICAL IN)

光デジタル音声出力端子付きの機器を接続します。(☞ 23 ページ)

⑧ CONNECT ボタン/LED

無線 LAN のセットアップに使用します。(☞ 99 ページ)

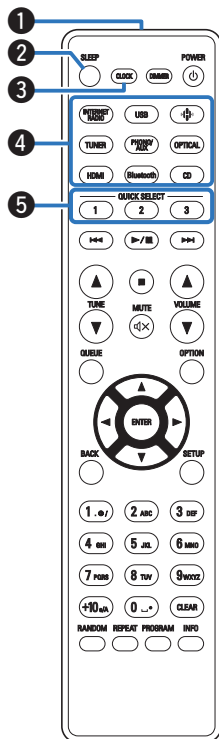
⑨ アナログ音声入力端子(AUDIO IN)

アナログ音声出力端子付きの機器を接続します。(☞ 24 ページ)

⑩ ネットワーク端子(NETWORK)

有線 LAN でネットワークに接続する際に LAN ケーブルを接続します。(☞ 28 ページ)

リモコン



① リモコン信号送信窓

リモコンの信号を送信します。(☞9 ページ)

② スリープタイマーボタン(SLEEP)

スリープタイマーを設定します。(☞80 ページ)

③ クロックボタン(CLOCK)

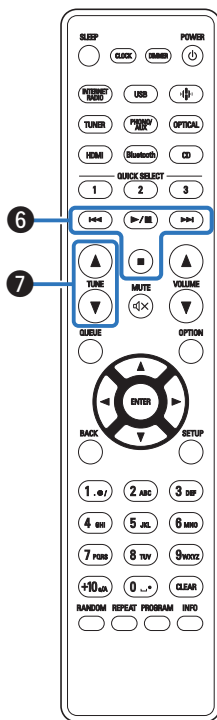
現在時刻を表示します。(☞80 ページ)

④ 入力ソース選択ボタン

入力ソースを選択します。(☞33 ページ)

⑤ クイックセレクトボタン(QUICK SELECT 1~3)

それぞれのボタンに入力ソース、音量および設定メニューの“SDB/Tone”などの複数の設定をあらかじめ登録することで、登録した設定にワンタッチで切り替えられます。(☞81 ページ)



⑥ システムボタン

再生に関する操作をします。

- プレイ/ポーズボタン(▶/⏸)

再生中にボタンを押すと、一時停止します。また、一時停止中および停止中にボタンを押すと、最後に再生した音楽の再生を再開します。

- スキップボタン(▶▶)

再生中にボタンを押すと、次の曲を再生します。

FM/AM 放送再生中にボタンを押すと、プリセットリストに登録した放送局を選べます。(P.68 ページ)

- スキップボタン(◀◀)

再生中にボタンを押すと、現在の曲の先頭から再生するか、前の曲を再生します。

FM/AM 放送再生中にボタンを押すと、プリセットリストに登録した放送局を選べます。(P.68 ページ)

- 停止ボタン(■)

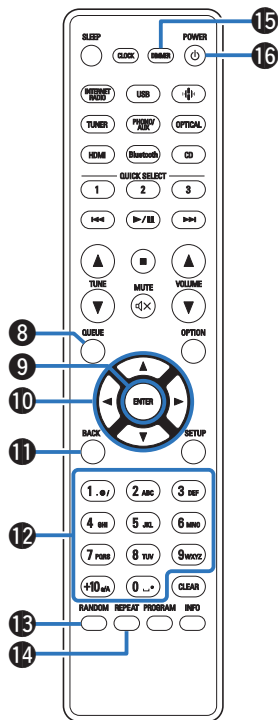
再生中にボタンを押すと、停止します。



- 入力ソースやオンラインサービスによっては、操作できません。

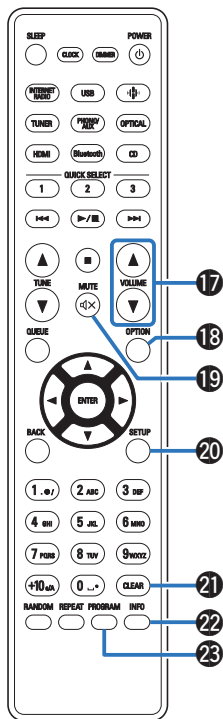
⑦ 選局ボタン(TUNE ▲▼)

チューナーを操作します。(P.66 ページ)



- 8 キューリスト呼び出しボタン(Queue)**
 キューリストを表示します。

 - 「インターネットラジオを聴く」(☞34 ページ)
 - 「パソコンや NAS に保存されているファイルを再生する」(☞36 ページ)
 - 「USB メモリーを再生する」(☞39 ページ)
- 9 エンターボタン(ENTER)**
 選択した内容を確定します。
- 10 カーソルボタン(△▽◀▶)**
 項目を選択します。
- 11 バックボタン(BACK)**
 ひとつ前の項目に戻ります。
- 12 数字/文字ボタン(0~9、+10)**
 本機の文字入力や数字入力をします。(☞85 ページ)
- 13 ランダムボタン(RANDOM)**
 ランダム再生をします。
- 14 リピートボタン(REPEAT)**
 リピート再生をします。
- 15 ディマーボタン(DIMMER)**
 本機のディスプレイの明るさを調節します。(☞79 ページ)
- 16 電源ボタン(Power)**
 電源をオン/オフ(スタンバイ)します。(☞32 ページ)



17 音量調節ボタン(VOLUME ▲▼)

音量を調節します。(P.33 ページ)

18 オプションボタン(OPTION)

オプションメニューをディスプレイに表示します。



• 入力ソースによっては、オプションメニューを表示しません。

19 ミュートボタン(MUTE ㊦)

消音します。(P.33 ページ)

20 セットアップボタン(SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します。(P.84 ページ)

21 クリアボタン(CLEAR)

設定を取り消します。

22 インフォメーションボタン(INFO)

ディスプレイに表示する、再生中の曲情報を切り替えます。

23 プログラムボタン(PROGRAM)

- プログラム再生をします。(P.62 ページ)
- データ CD の再生範囲を切り替えます。(P.65 ページ)

接続のしかた

■ 目次







スピーカーを接続する	20
デジタル機器を接続する	23
アナログ機器を接続する	24
USB 端子に USB メモリーを接続する	25
FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する	26
ホームネットワーク (LAN) に接続する	28
電源コードを接続する	30

ご注意

- すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードやスピーカーケーブルと一緒に束ねないでください。雑音の原因になります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルを準備してください。

スピーカーケーブル (市販)	
サブウーハーケーブル (市販)	
HDMI ケーブル (付属)	
光伝送ケーブル (市販)	
オーディオケーブル (市販)	
LAN ケーブル (市販)	

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーを接続する前に、本機の電源プラグをコンセントから抜いてください。また、サブウーハーの電源を切ってください。
- スピーカーケーブルの芯線が、スピーカー端子からはみ出さないように接続してください。芯線がリアパネルやねじに接触したり、+側と-側が接触したりすると、保護回路が動作します。「保護回路」(P.140 ページ)
- 通電中は絶対にスピーカー端子に触れないでください。感電する場合があります。
- スピーカーは、インピーダンスが 4~16Ω のものを使用してください。

スピーカーケーブルを接続する

スピーカーケーブルのゴムチューブ(赤)が付いている方をスピーカー端子の+(赤)に、もう一方を-(黒)に接続してください。

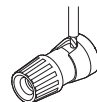
- 1 スピーカーケーブル先端の被覆を 10mm 程度はがし、芯線をしっかりよじる。



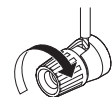
- 2 スピーカー端子を左に回してゆるめる。



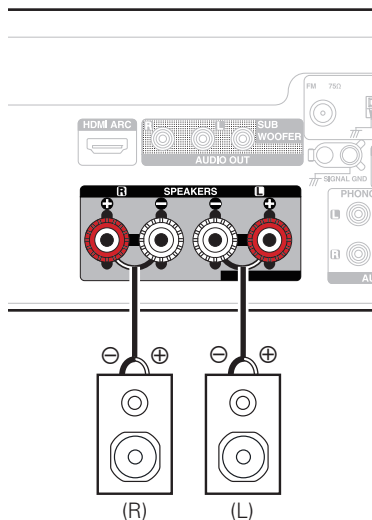
- 3 スピーカーケーブルの芯線をスピーカー端子の根元に差し込む。



- 4 スピーカー端子を右に回して締める。



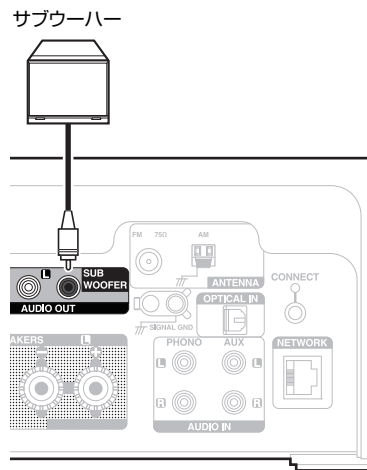
スピーカーを接続する



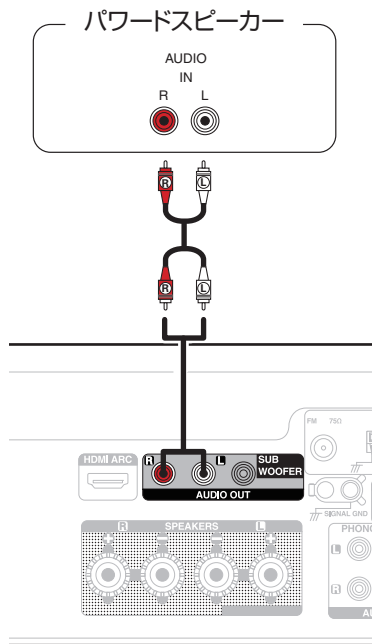
- 本機と同シリーズのスピーカー、SC-N10(別売り)との組み合わせをおすすめします。

サブウーハーを接続する

サブウーハーケーブルを使用して、サブウーハーと接続します。



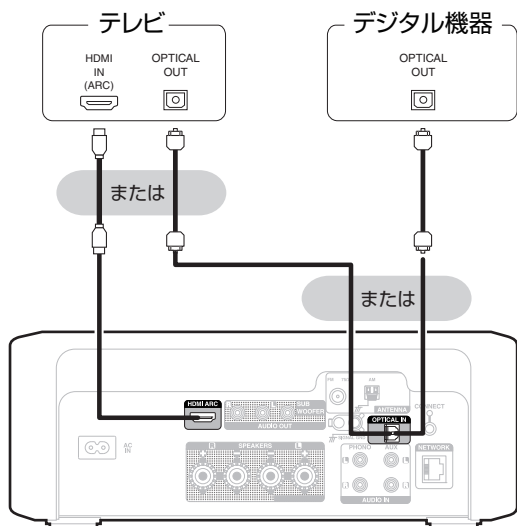
パワードスピーカーを接続する



- VOLUME ▲▼ ボタンでアナログ音声出力端子から出力する音量を調節できます。アナログ音声出力の音量は、スピーカーの音量に連動します。
- パワードスピーカーを本機に接続する場合、パワードスピーカーの取扱説明書もご覧ください。

デジタル機器を接続する

テレビなどのデジタル出力端子付きの機器と接続します。



- 本機にテレビを接続してお使いの場合、テレビに内蔵されたスピーカーの音声出力をオフに設定してください。詳しくはお使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- 本機の HDMI ARC 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応したテレビの HDMI 入力端子に接続してください。
- ARC 機能に非対応のテレビと接続する場合、光デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。

ご注意

- HDMI ARC および光デジタル接続経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。
- 本機に入力できるのは、サンプリング周波数が 32kHz、44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz、176.4kHz、192kHz のリニア PCM 信号です。
- ドルビーデジタル、DTS、AAC などのリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。

再生できる音声信号の仕様

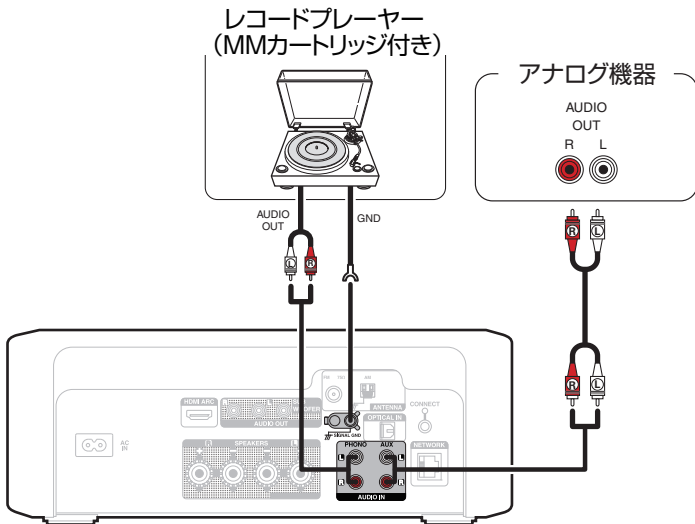
「デジタル入力」(P.133 ページ)をご覧ください。

アナログ機器を接続する

アナログ出力端子を持つ機器と接続します。

本機は、MM カートリッジ付きのレコードプレーヤーに対応しています。MC カートリッジ付きのレコードプレーヤーを接続する場合は、別売りの MC ヘッドアンプまたは昇圧トランスを使用してください。

本機の入力ソースを“PHONO”にし、レコードプレーヤーを接続せずに音量を上げると、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される場合があります。

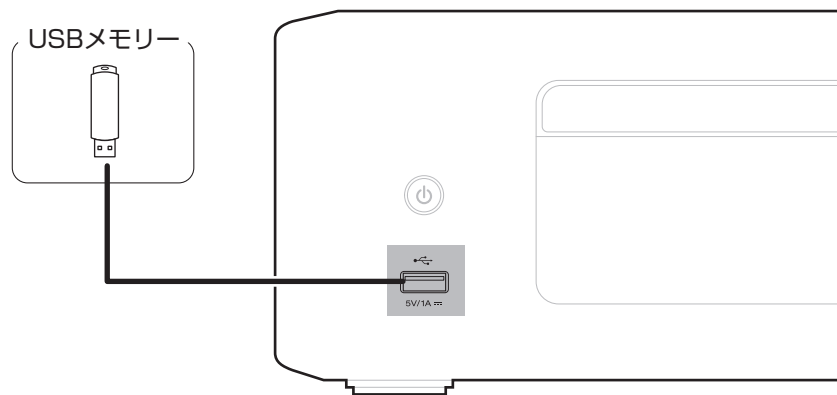


ご注意

- 本機のアース端子(SIGNAL GND)は、安全アースではありません。雑音が多いときに接続すると、雑音を低減できます。ただし、レコードプレーヤーによっては、アース線を接続すると逆に雑音が大きくなる場合があります。この場合は、アース線を接続する必要はありません。

USB 端子に USB メモリーを接続する

操作のしかたは、「USB メモリーを再生する」(P.39 ページ)をご覧ください。



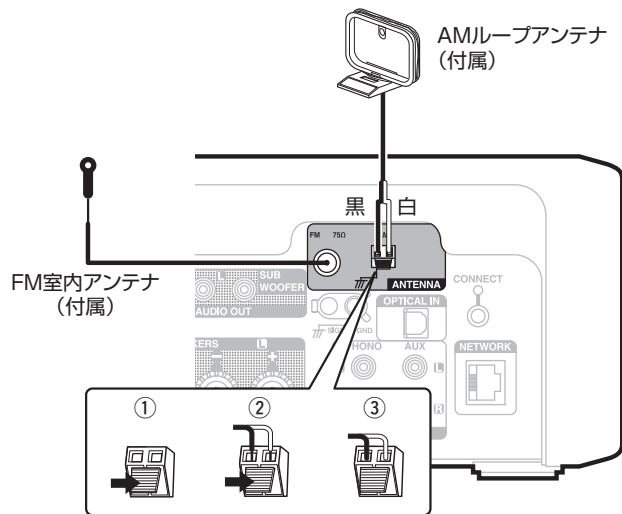
- すべての USB メモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB 接続タイプのポータブル HDD で、AC アダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、AC アダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USB メモリーは USB ハブ経由では動作しません。
- 本機の USB 端子とパソコンを USB ケーブルで接続して使用することはできません。
- USB メモリーを接続するときは、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

FM室内アンテナやAMループアンテナを接続する

アンテナを接続したあとに放送を受信し、雑音の少ない位置にテープなどで固定してください。「FM 放送または AM 放送を聴く」(P.66 ページ)



- 放送を良好に受信できない場合は、屋外アンテナの設置をおすすめします。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

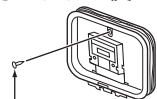
ご注意

- AM ループアンテナ線がリアパネルやねじに接触していないか確認してください。

■ AM ループアンテナの使いかた

壁に掛けて使う

組み立てずにそのままお使いください。

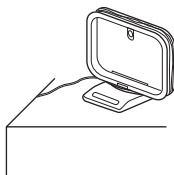


くぎや画びょうなど

置いて使う

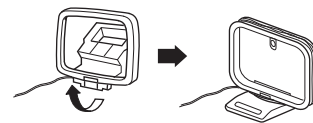
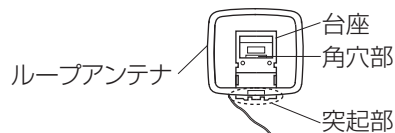
図のように組み立ててお使いください。

組み立てかたは、「AM ループアンテナの組み立てかた」をご覧ください。



■ AM ループアンテナの組み立てかた

- 1 台座部をループアンテナの後ろから、ループアンテナの下を通して、手前に曲げる。
- 2 突起部を台座の角穴部に、差し込む。



ホームネットワーク(LAN)に接続する


本機は有線 LAN または無線 LAN を使用して、ネットワークに接続できます。

本機はホームネットワーク(LAN)に接続して、次のさまざまな再生や操作をおこなうことができます。

- インターネットラジオやメディアサーバーなどのネットワークオーディオの再生
- ストリーミング音楽サービスの再生
- AirPlay 再生
- ネットワークを経由した本機の操作
- HEOS 無線マルチルームサウンドシステムでの動作
- ファームウェアのアップデート

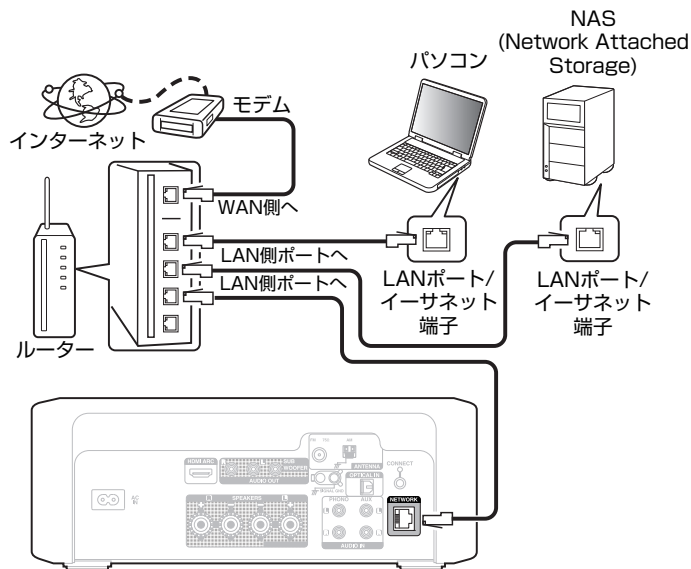
インターネットの接続については、ISP(Internet Service Provider)またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。



- 本機のディスプレイに  が表示されている場合、本機はネットワークに接続していません。

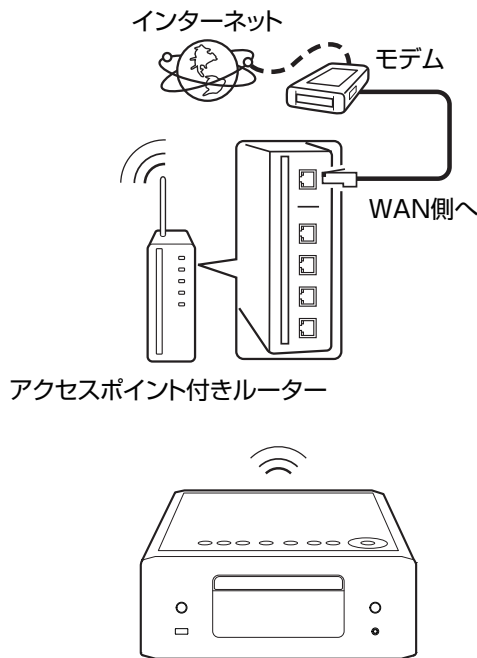
有線 LAN

有線 LAN で接続する場合は、図のようにルーターと本機を LAN ケーブルで接続してください。



無線 LAN

無線 LAN ルーターに接続するには、HEOS アプリをお手持ちのモバイル端末にダウンロードして、本機のセットアップをおこなってください。(P.49 ページ)



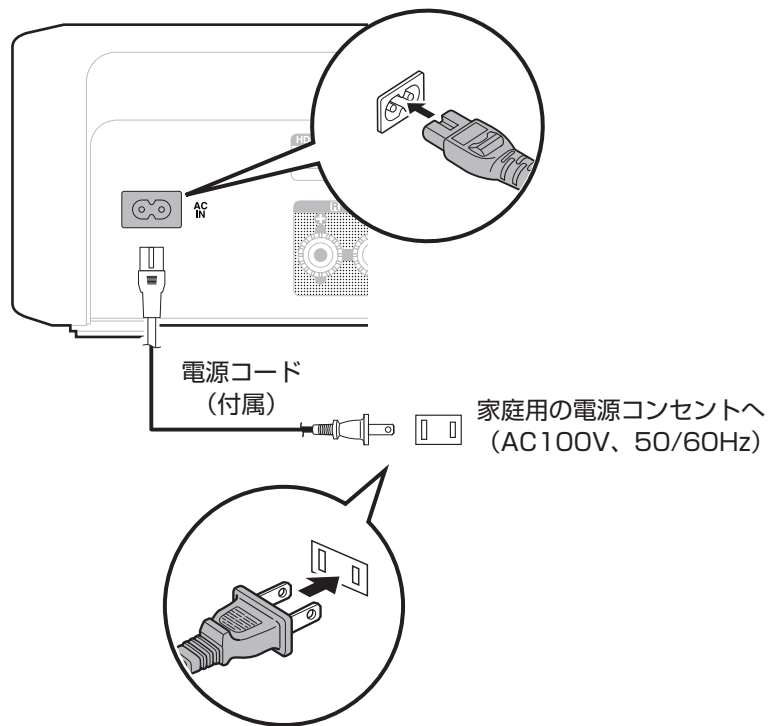
- 本機を使用するにあたって、次の機能が装備されているルーターをおすすめします。
 - DHCP サーバー内蔵
LAN 上の IP アドレスを自動的に割り振る機能です。
 - 100BASE-TX スイッチ内蔵
複数の機器を接続するために、100Mbps 以上の速度で、スイッチングハブを内蔵していることをおすすめします。
- STP タイプまたは ScTP タイプのシールド LAN ケーブルを使用してください。(CAT-5 以上を推奨)
- LAN ケーブルは、シールド付きのノーマルタイプをおすすめします。フラットタイプのケーブルやシールドされていないケーブルを使用すると、ノイズが他の機器に影響を及ぼす可能性があります。

ご注意

- ISP 業者によって使用できるルーターの種類が異なります。詳しくは、ISP 業者またはパソコン関連販売店にお問い合わせください。
- 本機は PPPoE に対応していません。PPPoE で設定するタイプの回線契約を結んでいる場合は、PPPoE 対応のルーターが必要です。
- 電気通信端末機器認定品の市販ルーター等に LAN 接続してください。
- NETWORK 端子は、直接パソコンの LAN ポート/イーサネット端子と接続しないでください。
- 各種オンラインサービスは、予告なく終了する場合があります。

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

■ 目次

基本操作

電源を入れる	32
電源をスタンバイにする	32
入力ソースを選ぶ	33
音量を調節する	33
一時的に音を消す(ミュート)	33

ネットワークオーディオ/サービスを再生する

インターネットラジオを聴く	34
パソコンやNASに保存されているファイルを再生する	36
HEOS アプリをダウンロードする	49
AirPlay 機能	73
Spotify Connect 機能	76

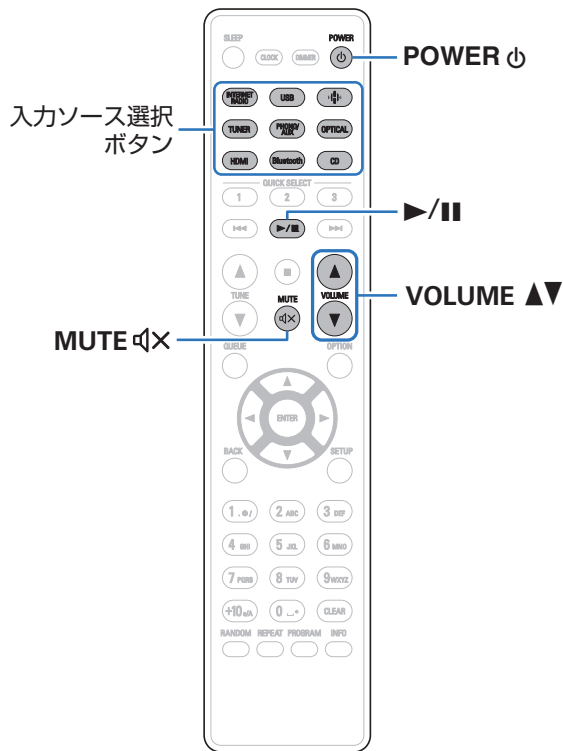
機器を再生する

USB メモリーを再生する	39
Bluetooth 機器の音楽を聴く	42
Bluetooth ヘッドホンで本機の音声を聴く	46
CD を再生する	60
データ CD を再生する	63
FM 放送または AM 放送を聴く	66
デジタル入力を再生する	70
アナログ入力を再生する	72

便利な機能

HEOS お気に入り再生	78
HEOS お気に入りに追加する	78
HEOS お気に入りを削除する	79
ディスプレイの明るさを切り替える	79
スリープタイマーを設定する	80
現在の時刻を確認する	80
クイックセレクト機能	81

基本操作



電源を入れる

1 POWER ㊤ を押して電源を入れる。

電源表示が白色に点灯します。



- 本体の ㊤ を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。
- ▶/|| を押しても、スタンバイ状態から電源を入れることができます。

電源をスタンバイにする

1 POWER ㊤ を押す。

スタンバイ状態になります。



- 本体の ㊤ を押しても、スタンバイ状態にすることができます。


ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

入力ソースを選ぶ

- 1 再生する入力ソース選択ボタンを押す。
ディスプレイに選んだ入力ソースを表示します。



- TUNER を押すたびに FM/AM を切り替えます。
- 本体の  キーをタッチしても、入力ソースを選択できます。


音量を調節する

- 1 VOLUME ▲▼ を押して音量を調節する。
ディスプレイに音量を表示します。




- 本体の VOLUME ▲▼ をタッチしても、音量を調節できます。

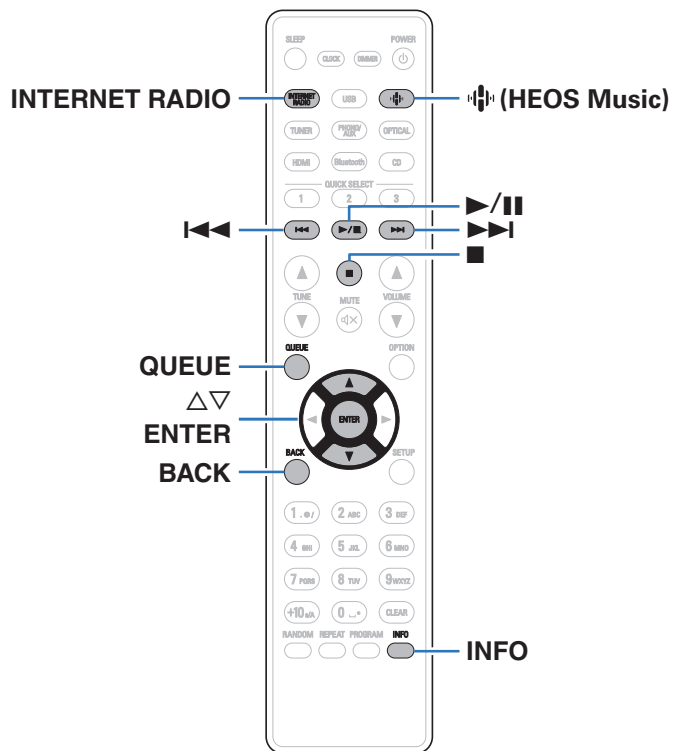
一時的に音を消す(ミュート)

- 1 MUTE  を押す。
ディスプレイに“Mute”を表示します。



- ミュートを解除するときは、音量を調節するか、もう一度 MUTE  を押してください。


インターネットラジオを聴く



- インターネットラジオとは、インターネット上に配信されているラジオ放送です。世界中のインターネットラジオ放送を聴くことができます。
- 本機のインターネットラジオ局リストは、TuneIn ラジオサービスのデータベースサービスを利用しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「インターネットラジオの再生について」(p.135 ページ)をご覧ください。
 - WMA
 - MP3
 - MPEG-4 AAC

インターネットラジオを聴く

1 INTERNET RADIO を押す。

-  (HEOS Music) を押しても操作ができます。△▽ を押して “Internet Radio” を選び、ENTER を押してください。

2 再生したい放送局を選ぶ。

操作ボタン	機能
▶/ *	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶*	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
INFO	曲名・アーティスト名、放送局名およびファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

* ポッドキャストを再生中に有効です。

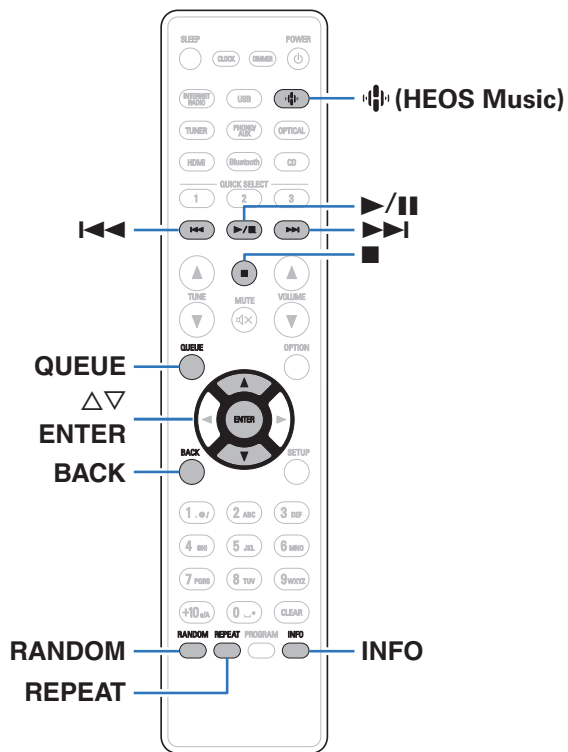


- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.” (ピリオド) に置き換えて表示します。

ご注意

- ラジオ局データベースサービスは、予告なく停止する場合があります。

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する




- 本機では、パソコンや DLNA 対応の NAS (Network Attached Storage) に保存されている音楽ファイルやプレイリスト (m3u、wpl) を再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「パソコンや NAS に保存されているファイルの再生について」(P.134 ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD

パソコンやNASに保存されているファイルを再生する

DLNA ファイルサーバーに保存されている音楽ファイルやプレイリストを再生する場合におこないます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 を押して“Music Servers”を選び、ENTER を押す。

3 ネットワーク上のパソコンまたはNAS (Network Attached Storage)名を選ぶ。

4 パソコンまたはNAS内の音楽データから、再生する音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

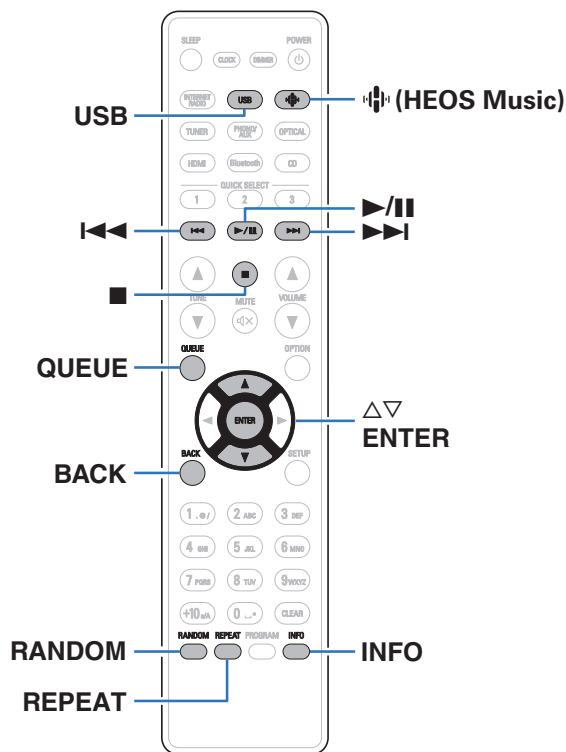
5 △▽を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTER を押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△ ▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
INFO	曲名 - アーティスト名、アルバム名およびファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

ご注意

- 無線 LAN を経由して接続されたパソコンまたは NAS で音楽ファイルを再生すると、無線 LAN 環境によっては音声途切れることがあります。このような場合は、有線 LAN で接続してください。
- 曲の表示順は、サーバーの仕様によって異なります。サーバーの仕様によって、頭文字での検索が正しく動作せず、曲の表示順がアルファベット順にならない場合があります。


USBメモリーを再生する



- USBメモリーに保存されている音楽ファイルを再生できます。
- 本機は、マスタストレージクラスに対応しているUSBメモリーのみ再生できます。
- USBメモリーは、“FAT32”または“NTFS”フォーマットに対応しています。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「USBメモリーの再生について」(P.129ページ)をご覧ください。

- WMA
- MP3
- WAV
- MPEG-4 AAC
- FLAC
- Apple Lossless
- DSD

USB メモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 USB メモリーを USB 端子に挿入する。
- 2 USB を押して、入力ソースを“USB Music”に切り替える。
 -  (HEOS Music) を押しても切り替えられます。△▽ を押して“USB Music”を選び、ENTER を押してください。
- 3 本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。

4 USB メモリー内の音楽データから、再生したい音楽を選ぶ。



- 音楽をどのようにリストに追加するかを選択します。

すぐに再生:	現在再生している曲の直後に選択した音楽を追加し、その曲をすぐに再生します。
今すぐ再生してキューを入れ替え:	キューを削除し、選択した曲をすぐに再生します。
次に再生:	現在再生している曲の直後に選択した曲を追加し、再生中の曲が終わったら選択した曲を再生します。
キューの最後に追加:	選択した曲をキューの最後に追加します。

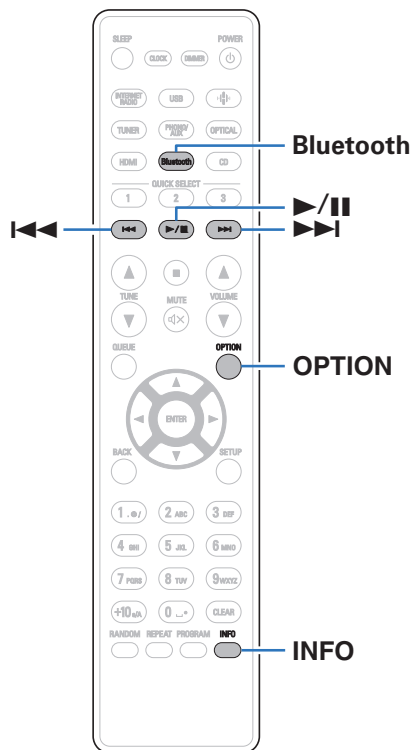
5 △▽を押して“すぐに再生”または“今すぐ再生してキューを入れ替え”を選び、ENTERを押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
△▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
BACK	1 つ上の階層に移動
REPEAT	リピート再生 • 1 曲リピートと全曲リピートを切り替えます。
RANDOM	ランダム再生
INFO	曲名 - アーティスト名、アルバム名および ファイルフォーマットの表示切り替え
QUEUE	キューリストの表示

ご注意

- USB メモリーを本機と接続して使用しているときに、万一 USB メモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機に USB メモリーを接続すると、本機は USB メモリーのすべてのファイルを読み込みます。USB メモリーにフォルダ数やファイル数が多い場合、読み込みに時間がかかることがあります。

Bluetooth機器の音楽を聴く



スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth 機器と本機をペアリングして接続すると、Bluetooth 機器の音楽ファイルをワイヤレスで楽しむことができます。約 30m の範囲内で通信できます。

ご注意

- Bluetooth 機器の音楽を再生するには、Bluetooth 機器が A2DP プロファイルをサポートしている必要があります。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

Bluetooth 機器の音楽を本機で楽しむときは、あらかじめご使用になる Bluetooth 機器と本機をペアリングしてください。
一度ペアリングすれば、再度ペアリングする必要はありません。

1 Bluetooth を押す。

本機で Bluetooth 再生をはじめてご使用になる場合は、自動的にペアリングモードになります。

2 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。

3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名前が表示されたら、本機を選ぶ。

Bluetooth 機器の接続操作は、本機に近い距離 (1m 程度) でおこなってください。

4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

- 本機のリモコンでも Bluetooth 機器を操作できます。
- 次回以降、リモコンの Bluetooth を押した場合、本機は自動的に最後に接続していた Bluetooth 機器に接続します。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
INFO	曲名 - アーティスト名、Bluetooth 機器名 およびアルバム名の表示切り替え

2 台目以降の Bluetooth 機器とペアリングする

Bluetooth 機器と本機をペアリングします。

- 1 Bluetooth 機器の Bluetooth 設定を有効にする。
- 2 リモコンの Bluetooth を 3 秒以上押す。
本機はペアリングモードになります。
- 3 Bluetooth 機器の画面に表示された機器の一覧に本機の名称が表示されたら、本機を選ぶ。



- 本機は最大 8 台の Bluetooth 機器とペアリングできます。9 台目の Bluetooth 機器をペアリングすると、一番古い機器に置き換えて登録します。
- Bluetooth の再生画面が表示されているときに OPTION を押し、表示されたオプションメニューから“ペアリングモード”を選択しても、ペアリングモードに入ることができます。

ご注意

- 本機のリモコンで操作するには、Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している必要があります。
- すべての Bluetooth 機器に対するリモコン操作を保証するものではありません。
- Bluetooth 機器によっては、本機は Bluetooth 機器で設定している音量と連動して音声を出力します。

Bluetooth 機器から本機に再接続する

ペアリングが済んでいれば、本体を操作せずに接続することができます。

再生する Bluetooth 機器を切り替える場合にもこの操作をおこなってください。

- 1 現在接続している Bluetooth 機器がある場合、その機器の Bluetooth 設定をオフにして接続を切断する。
- 2 接続したい Bluetooth 機器の Bluetooth 設定をオンにする。
- 3 お使いの Bluetooth 機器の Bluetooth 機器リストから本機を選択する。
- 4 Bluetooth 機器のアプリを使用して音楽を再生する。

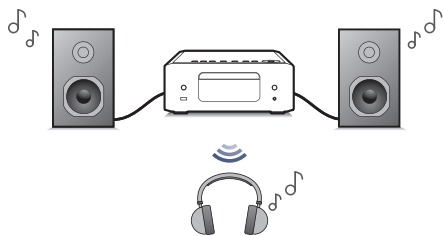


- 本機の電源および Bluetooth 機能がオンのときに Bluetooth 機器の接続操作をおこなうと、自動的に入力ソースを“Bluetooth”に切り替えます。
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに Bluetooth 機器から Bluetooth 接続および再生操作をおこなうと、自動的に本機の電源はオンになります。(P.98 ページ)

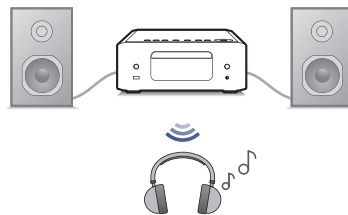
Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

本機で再生している音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くことができます。

本機の Bluetooth 送信機能は、ご使用の環境に合わせてスピーカーと Bluetooth ヘッドホンから音声を同時に出力したり、Bluetooth ヘッドホンからのみ音声を出力したりすることができます。



(出力モード：ヘッドホン + スピーカー)



(出力モード：ヘッドホン)

Bluetoothヘッドホンで本機の音声を聴く

1 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定する。(P.97 ページ)

2 “出力モード”を選び、音声の出力方法を設定する。

ヘッドホン + スピーカー 音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。

Bluetooth ヘッドホンを使用してもスピーカーから音声が出力されますので、ご購入時の設定)：ご家族と一緒に映画などを楽しむことができます。

ヘッドホン： 音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。

夜間など一人で音楽や映画を視聴したいときにご使用ください。

3 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンをペアリングモードにする。

4 “デバイス”を選び、デバイスリストから接続したい Bluetooth ヘッドホンの機器名を選ぶ。

5 接続が完了したら、Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節する。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth ヘッドホンの音量は、本機では調節できません。Bluetooth ヘッドホン側で音量を調節してください。
- 設定メニューの“SDB/Tone”設定は、Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。
- Bluetooth ヘッドホンに送信する音声は遅延する場合があります。
- AirPlay の音声は送信できません。
- Bluetooth 入力ソースを選択している場合は、Bluetooth ヘッドホンを接続できません。また、Bluetooth 入力ソースを選択すると、本機と Bluetooth ヘッドホンの接続が切断されます。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

注意：

音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンを使用する場合

- 聴覚障害の原因となる場合がありますので、音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンを接続しないでください。
- 本機を音量調整機能がない Bluetooth ヘッドホンに接続すると、突然大きな音が出力される場合があります。
- Bluetooth ヘッドホンの音量は本機では調節できません。

Bluetooth ヘッドホンに再接続する

一度ペアリングが済んでいれば、次のいずれかの操作をすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続できます。

- Bluetooth ヘッドホンの再接続機能を使用して、本機に再接続する。
- “出力モード”の設定が“ヘッドホン + スピーカー”のときに本機の電源をオンにすると、最後に使用した Bluetooth ヘッドホンに再接続します。
- 設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から接続したい機器名を選択する。(P.97 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを切断する

次のいずれかの操作をすると、Bluetooth ヘッドホンとの接続を切断できます。

- Bluetooth ヘッドホンの電源をオフにする。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で“ヘッドホン”を“オフ”に設定する。(P.97 ページ)

HEOS アプリをダウンロードする

HEOS アプリから多くのオンライン音楽ストリーミングサービスを使用することができます。無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

App ストア、Google Play ストアまたは Amazon アプリストアで“HEOS”を検索して、iOS 用または Android 用の HEOS アプリをダウンロードしてください。



- HEOS アプリの仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

HEOS アプリに初めて HEOS 機能搭載機器をセットアップする

本機を設置して HEOS アプリをダウンロードしたら、ホームネットワークに接続するための設定をおこないます。本機をホームネットワークに接続するために、次の手順をおこなってください。



- 本機を無線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブルを接続しないでください。本機を有線 LAN ネットワークに接続する場合は、LAN ケーブル(市販)を使用して、ルーターやハブに接続してください。

1 モバイル端末が無線 LAN(本機を接続するネットワーク)に接続されていることを確認してください。

iOS または Android 機器の“設定” - “Wi-Fi”で確認できます。



- モバイル端末の Bluetooth 設定をオンにしてください。
- 無線 LAN ネットワークがパスワードで保護されている場合は、パスワードを確認してください。

2 モバイル端末で HEOS アプリを起動する。



3 HEOS アプリが起動したら、画面上部の“今すぐセットアップ”をタップする。

4 画面の指示に従って、本機を無線 LAN ネットワークに追加する。

HEOS アプリに HEOS 機能搭載機器の登録を追加する

HEOS システムは、複数の HEOS 機能搭載機器間の音楽再生を自動的に同期できます。HEOS システムには、最大 32 台の HEOS 機能搭載機器を追加できます。また、最大 16 台の HEOS 機能搭載機器を 1 つのグループにすることで、1 台の HEOS 機能搭載機器のように機能させられます。

■ 有線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

LAN ケーブルを使用して、HEOS 機能搭載機器をホームネットワークに接続すると、HEOS アプリのルーム画面に、接続した HEOS 機能搭載機器が表示されます。有線 LAN の接続については、「ホームネットワーク (LAN) に接続する」(P.28 ページ)をご覧ください。


また、HEOS 機能搭載機器に任意の名前を割り当てると、どの部屋に設置した HEOS 機能搭載機器なのか分かりやすくなります。

■ 無線 LAN で HEOS 機能搭載機器を追加する

HEOS アプリの設定メニューから“デバイスの追加”を選び、画面の指示に従って操作してください。



HEOS アカウント

HEOS アカウントは、HEOS アプリの“ホーム”タブ - “設定”アイコン  をタップして登録してください。

HEOS アカウントを作成またはサインインすると、HEOS お気に入り機能を使用して、本機からお気に入りのストリーミングラジオ局をお気に入りリストに保存したり、リストから再生したりできます。

■ HEOS アカウントとは

HEOS アカウントは、1 つのユーザー名とパスワードですべての HEOS 音楽サービスを管理するマスターアカウントです。

■ HEOS アカウントが必要な理由

HEOS アカウントでログインすれば、例えば友人宅の HEOS システムで音楽を聞くとときでも、アカウント登録しているストリーミング音楽サービスや再生履歴、カスタムプレイリストにアクセスできます。



■ HEOS アカウントに登録する

HEOS アプリの“ホーム”メニューからはじめて音楽サービスにアクセスするときに、HEOS アカウントへの登録をおすすめするメッセージと登録画面を表示します。HEOS アプリの案内に従って操作を完了してください。



- HEOS アカウントの設定情報は、本機と HEOS アプリで同期しています。アカウントの設定変更やサインアウトは HEOS アプリからおこなってください。

■ HEOS アカウントを変更する

- 1 “ホーム”タブをタップする。
- 2 画面右上の設定アイコン  をタップする。
- 3 画面右上のアカウントアイコン  をタップする。
- 4 位置情報の変更やパスワードの変更、アカウントの削除、サインアウトをおこなう。



- HEOS アプリでアカウント設定を変更したりサインアウトしたりすると、本機のアカウント設定も自動的に同期します。HEOS アカウントを切り替えるには、本機に同期したいアカウントで HEOS アプリにサインインしてから音楽を再生してください。“HEOS アカウント”が自動的に切り替わります。

ストリーミング音楽サービスを再生する

無料または有料配信で、より多くの音楽を提供するオンラインミュージックサービスをご使用いただけます。

ご注意

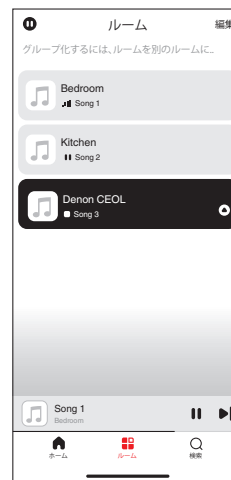
- HEOS アプリおよびブランドは、どちらのモバイルデバイスの製造元とも提携していません。音楽サービスの提供は地域によって異なります。製品購入時にすべてのサービスが利用できるわけではありません。音楽サービスプロバイダまたは第三者の決定に基づき、いくつかのサービスが追加または中止されることがあります。

■ 再生する部屋/HEOS 機器を選ぶ

- 1 “ルーム”タブをタップする。複数の HEOS 機能搭載機器がある場合は、“Denon CEOL”を選ぶ。



- 画面右上の“編集”をタップすると編集モードになり、表示名を変更することができます。

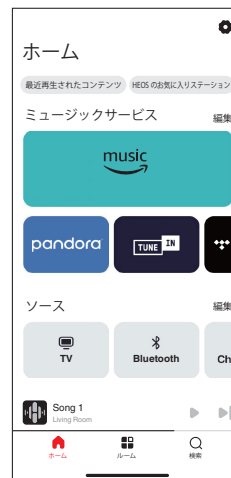


■ 音楽ソースから音楽や放送局を選ぶ

1 “ホーム”タブをタップし、音楽ソースを選ぶ。



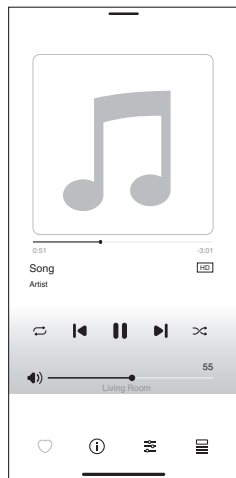
- 画面に表示されている音楽サービスは、お住まいの地域により利用できない場合があります。



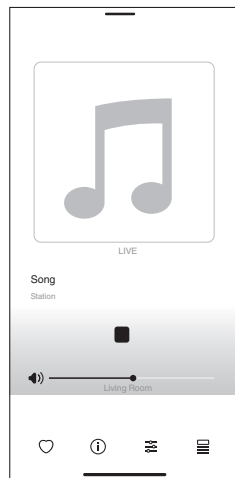
2 再生したい音楽を選ぶ。

音楽または放送局を選ぶと、自動的に“再生中”画面に切り替わります。

音楽ファイル



ストリーミング



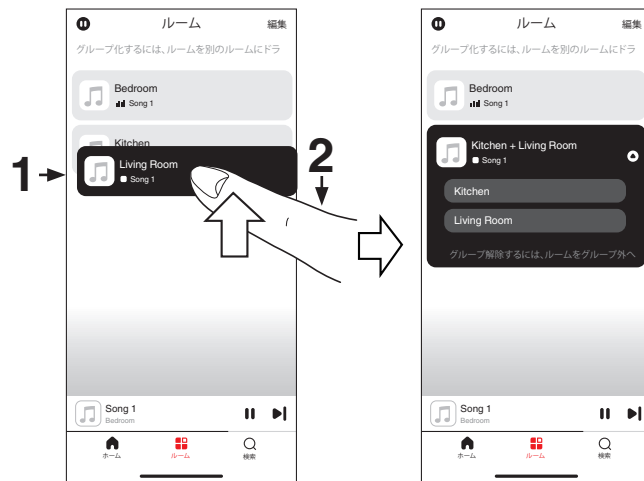
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定し、本機がスタンバイ状態のときに HEOS アプリから再生操作をおこなうと、本機の電源は自動的にオンになります。(「ネットワーク制御」(P.98 ページ))

同じ音楽を複数の部屋で聴く

このシステムでは、複数の HEOS 機能搭載機器間で音楽再生を自動的に同期できます。これにより、さまざまな部屋で再生される音楽が完全に同期し、常に素晴らしいサウンドを得ることができます。このシステムでは最大 32 台の機器を簡単に追加できます。また最大 16 のグループ化が可能で、グループごとに完全に同期して楽曲を再生できます。

■ 部屋をグループ化する

- 1 音楽を再生していない部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 そのまま音楽を再生している部屋までドラッグする。
- 3 2つの部屋が1つのグループにグループ化され、両方の部屋で同じ音楽を再生する。

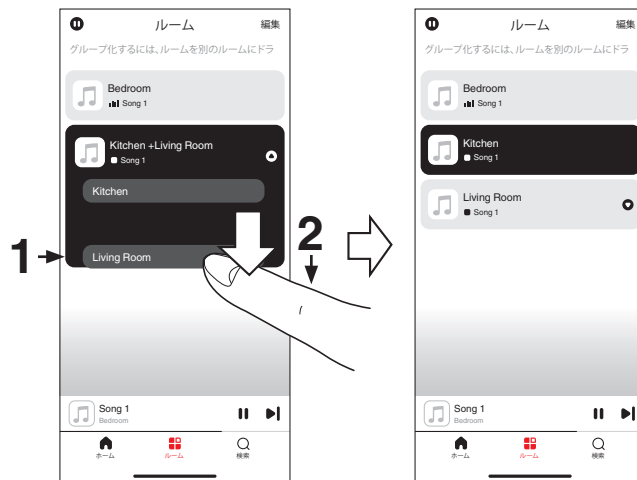


■ 部屋のグループ化を解除する

- 1 グループから外したい部屋をホールド(指で押さえたままに)する。
- 2 グループの外にドラッグして、指を離す。

ご注意

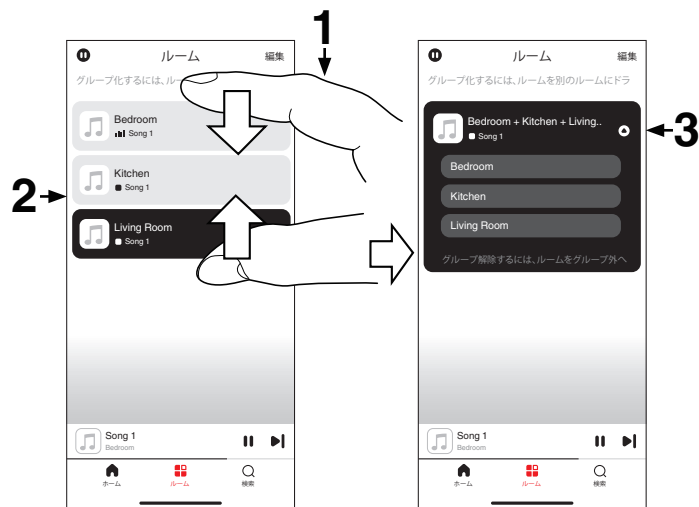
- グループ化は音楽を再生している部屋が基準となるため、その部屋をグループから解除できません。



■ すべての部屋をグループ化する(パーティーモード)

ピンチジェスチャーを使用して、最大 16 の部屋をグループ化できます。

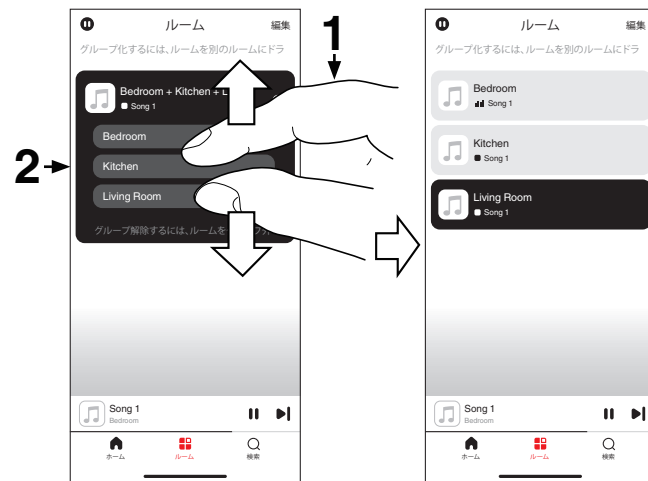
- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を置く。
- 2 2本の指ですばやくつまむ動作をして、画面から離す。
- 3 すべての部屋をグループ化し、同じ音楽がすべての部屋で再生する。



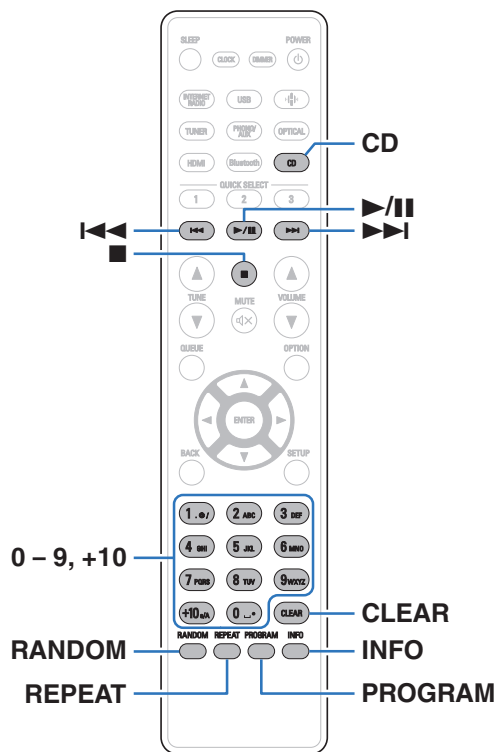
■ すべての部屋のグループ化を解除する

スプレッドジェスチャーを使用して、すべての部屋のグループ化を解除できます。

- 1 部屋のリスト上の画面に2本の指を近づけて置く。
- 2 2本の指をすばやく互いに遠ざけ、画面から離す。
- 3 すべての部屋のグループ化を解除する。



CDを再生する



CDを再生する

- 1 CDを押して、入力ソースを“CD”に切り替える。
- 2 ディスクトレイにディスクを入れる。(131 ページ)再生をはじめます。
 - 本体の▲を押すと、ディスクトレイが開閉します。



- CDを自動再生するかしないかを設定できます。(94 ページ)

ご注意

- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因になります。
- 電源がスタンバイの状態、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因になります。

操作ボタン	機能
▶/	再生/一時停止
■	停止
◀◀▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
0~9, +10	曲の選択
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 <ul style="list-style-type: none"> 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
INFO	時間表示切り替え <ul style="list-style-type: none"> 再生曲の経過時間および再生曲の残り時間の表示を切り替えます。

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0 ~ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。

【例】

4 曲目: 数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目: 数字ボタンの+10 と 2 を続けて押す。

お好みの順序で再生する(プログラム再生)

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

1 停止中に PROGRAM を押す。

ディスプレイに“Program”を表示します。

2 0 ~ 9、+10 を押して、トラック番号を入力する。

【例】

4 曲目: 数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目: 数字ボタンの +10 と 2 を続けて押す。

3 ▶/■ を押す。

プログラムした曲順に再生をはじめます。



- プログラム再生中に RANDOM を押すと、ランダム再生モードになります。ランダム再生モードで ▶/■ を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

ご注意

- ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラム再生を解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に ▶▶I を押す。

▶▶I を押すたびに、プログラムした曲順でトラック番号を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。

CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

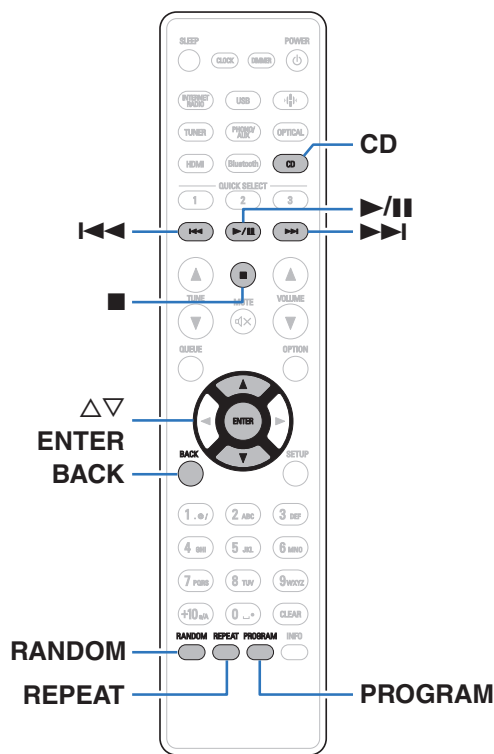


- ▶▶I を押して、取り消したい曲を選択することもできます。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROGRAM を押す。

データ CD を再生する



- ここでは、CD-R および CD-RW に記録している音楽ファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA (Windows Media® Audio) 形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽(ファイル)を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。
- 本機で再生できる音声フォーマットの種類は、次のとおりです。詳しくは、「再生できるファイルの仕様」(P.127 ページ)をご覧ください。
 - MP3
 - WMA

ご注意

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 CD を押して、入力ソースを“CD”に切り替える。

2 音楽ファイルを記録してある CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。(☞131 ページ)

再生をはじめます。

- 本体の ▲ ボタンを押すと、ディスクトレイが開閉します。



- CD を自動再生するかしないかを設定できます。(☞94 ページ)

操作ボタン	機能
▶/■	再生/一時停止
■	停止
◀▶▶▶	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
BACK	1 つ上の階層に移動
△▽	項目の選択
ENTER	選択項目の決定/再生
RANDOM	ランダム再生
REPEAT	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
PROGRAM	曲の再生範囲の選択
INFO	タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。



- CD-R/CD-RW 再生中に別のファイルを再生する場合は、まず BACK を押して階層表示をおこなってください。次に △▽ を押して再生したいファイルを選び、ENTER を押してください。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中に INFO を押す。

- タイトル/アーティスト名、タイトル/アルバム名、ファイル名の表示を切り替えます。
- テキスト情報に対応しないファイルや曲名が記録されていないファイルの場合、ファイル名を表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

```

ABCDEFGHIJKLMNPOQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
! " # $ % & ; < > ? @ \ [ ] _ ` | } ~ ^ ' ( ) *
+ , - . / = (空白)

```

- ディスプレイ表示に対応していない文字は、“.(ピリオド)”に置き換えて表示します。

■ 再生範囲を切り替える

PROGRAM を押す。

- 曲の再生範囲を設定できます。

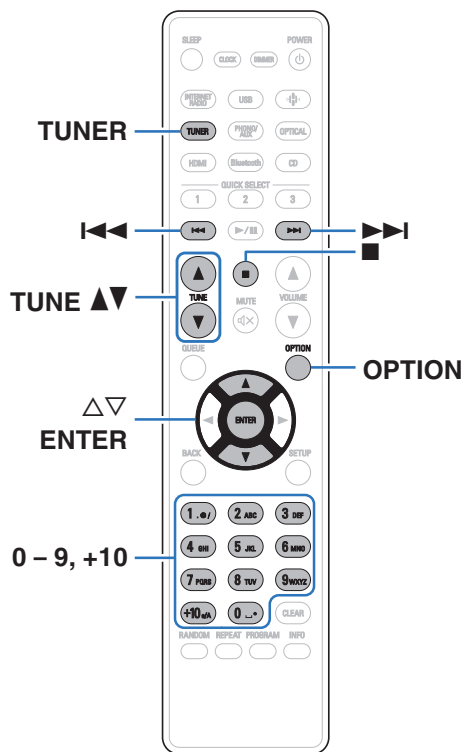
フォルダ再生モード:

選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。このとき、ディスプレイに □ を表示します。

全曲再生モード:

ディスク内のすべての曲を再生します。

FM 放送または AM 放送を聴く



アンテナの接続については、「FM 室内アンテナや AM ループアンテナを接続する」(P.26 ページ)をご覧ください。

FM 放送または AM 放送を聴く

1 TUNER を押して、受信バンドを選ぶ。

FM: FM 放送を聴くときに選択します。

AM: AM 放送を聴くときに選択します。

2 TUNE ▲▼ を押して、聴きたい放送局を選ぶ。

受信すると、**FM** 表示が点灯します。

ステレオ放送を受信した場合、ST インジケーターが点灯します。

受信モードを変更する(チューニングモード)

受信モードを変更します。“オート”モード(AUTO)で自動的に放送局を受信できないときは、“マニュアル”モード(表示無し)に変更し、手動で放送局を受信してください。

- 1 FM/AM 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して“チューニングモード”を選び **ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押してお好みの設定を選び、**ENTER** を押す。

オート(AUTO):	自動的に受信できる放送局を探して受信するモードです。
マニュアル(表示無し):	ボタン操作で 1 ステップずつ周波数を切り替えて受信するモードです。

FM/AM 放送局をプリセットする

プリセットリストに最大 50 局の放送局を登録できます。

- 1 登録したい放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して“プリセットメモリー”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押してプリセットリストに登録したい番号を選び、**ENTER** を押す。
“追加しました”を表示し、登録を完了します。

FM 放送局を自動的にプリセットする (オートプリセット)

受信できるすべてのFM 放送局を自動的にプリセットリストに登録できます。登録できる放送局数は最大 50 局です。

- 1 FM 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して“オートプリセットメモリー”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して“開始する”を選び、**ENTER** を押す。
自動で放送局を受信し、プリセットをはじめます。
 - プリセットが完了すると“設定を完了しました”を表示します。



- オートチューニングを停止するときは **■** を押してください。
- アンテナの電波が弱い放送局は、オートプリセットができません。このような場合は、マニュアルチューニングで受信してください。
- プリセットリストの登録局数が 50 局になると、追加登録ができません。
- AM 放送局はオートプリセットできません。

プリセットリストに登録した放送局を聴く

- 1 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して“プリセットリスト”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して聴きたい放送局を選び、**ENTER** を押す。
- 4 **△▽** を押して“すぐに再生”を選び、**ENTER** を押す。

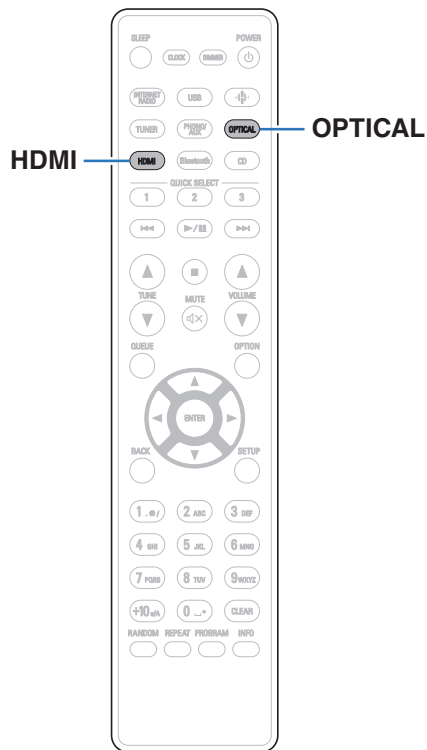


- 0~9、+10 を使用して、プリセットリストから聴きたい放送局を選択することもできます。
- **◀▶▶▶** を押して、プリセット登録した放送局を切り替えることができます。

プリセットリストから放送局を削除する

- 1 放送局を受信中に **OPTION** を押す。
オプションメニューを表示します。
- 2 **△▽** を押して“プリセットリスト”を選び、**ENTER** を押す。
- 3 **△▽** を押して削除したい放送局を選び、**ENTER** を押す。
- 4 **△▽** を押して“プリセットリストから削除”を選び、**ENTER** を押す。
“削除しました”を表示し、削除を完了します。

デジタル入力を再生する



- 1 再生の準備をする。**
正しく接続されていることを確認して、本機の電源を入れてください。(「デジタル機器を接続する」(P.23 ページ))
- 2 HDMI または OPTICAL を押して入力ソースを “HDMI” または “Optical” に切り替える。**
- 3 本機に接続した機器を再生する。**
 - サンプリング周波数を検出できない場合は、“入力無し”を表示します。
 - 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。



- 設定メニューの“テレビ入力”の設定をおこなうと、本機に接続したテレビの電源オン操作に連動して自動的に本機の電源をオンにし、入力ソースを“HDMI”または“Optical”に切り替えます。(P.89 ページ)

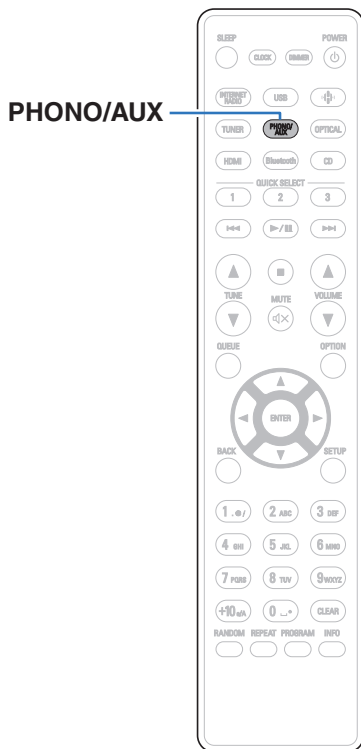
ご注意

- ドルビーデジタル、DTS などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。

■ 再生できる音声信号の仕様

「デジタル入力」(P.133 ページ)をご覧ください。

アナログ入力を再生する



- 1 再生の準備をする。**
正しく接続されていることを確認して、本機の電源を入れてください。(「アナログ機器を接続する」(P.24 ページ))
- 2 PHONO/AUX を押して、入力ソースを“Phono”または“AUX”に切り替える。**
 - PHONO/AUX を押すたびに、入力ソースが“Phono”または“AUX”に切り替わります。
- 3 本機に接続した機器を再生する。**

AirPlay 機能

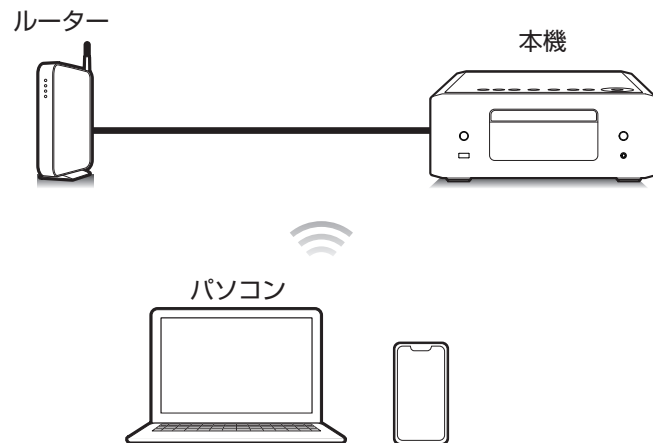
iPhone、iPod touch、iPad、Mac や Windows パソコンに保存されている音楽ファイルをネットワークを経由して本機で再生できます。



- AirPlay の再生を開始すると、本機の入力ソースは自動的に “AirPlay” に切り替わります。
- 他の入力ソースに切り替えると、AirPlay の再生が停止します。
- 画面は、OS やソフトのバージョンによって異なる場合があります。

本機は AirPlay 2 対応製品です。

複数の AirPlay 2 に対応したデバイスやスピーカーと同期して音楽を同時に再生することが可能です。

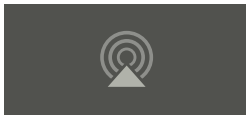


iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を本機で再生する

iPhone、iPod touch、iPad、Mac の曲を本機へダイレクトにストリーミングできます。

- 1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac を本機と同じネットワークに Wi-Fi 接続する。
 - 詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。
- 2 Apple Music を開いて iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。
- 3 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

【例】 iOS 15 または macOS 13



【例】 iOS 10



- 他のアプリの曲を AirPlay でストリーミングすることもできます。コントロールセンターを開き AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選んでください。
- AirPlay を使用するには、iOS 10.0.2 以降または OS X Mountain Lion 10.8 以降が必要です。

Windows パソコンの曲を本機で再生する

- 1 本機と同じネットワークに接続している Windows パソコンに、iTunes 10 以降をインストールする。
- 2 iTunes を起動し、AirPlay アイコンをクリックして、本機を選ぶ。

【例】 iTunes



- 3 iTunes で曲を選び、再生する。
本機で再生をはじめます。



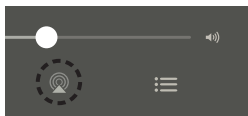
- 設定メニューの“ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、iTunes の操作で本機の電源をオンにできます。(P.98 ページ)
- iTunes の使用方法は、iTunes の“ヘルプ”をご覧ください。

iPhone、iPod touch、iPad および Mac の曲を複数の機器で同期して再生する (AirPlay 2)

iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を AirPlay 2 対応の複数の機器で同期して再生できます。

1 iPhone、iPod touch、iPad または Mac の曲を再生する。

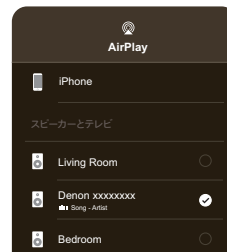
iPhone、iPod touch、iPad または Mac の画面に AirPlay アイコンを表示します。



2 AirPlay アイコンをタップまたはクリックして、本機を選ぶ。

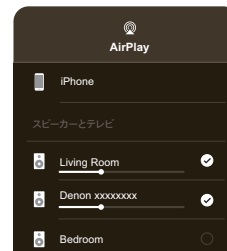
同一ネットワーク上で再生可能な機器/スピーカーの一覧を表示します。

- AirPlay 2 対応の機器名には右側に丸い印が表示されます。



3 再生したい機器/スピーカーを選ぶ。

- AirPlay 2 対応機器は複数台選ぶことができます。



- AirPlay 2 を使用するには、iOS 11.4 以降または macOS Catalina 以降が必要です。

Spotify Connect 機能

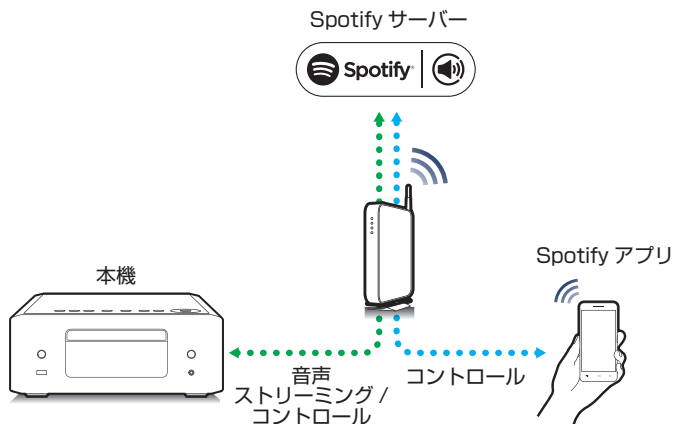
Spotify にはあなたが聴きたい音楽があります。何千万もの楽曲の中からあなたの好みに合ったお奨めの音楽をお楽しみいただけます。従来のプレミアムアカウント(有料)に加え、無料アカウントでも Spotify Connect をご利用になれます。

スマートフォン、タブレットまたはパソコンを操作して、Spotify の音楽を楽しめます。

詳しくは、www.spotify.com/jp/connect をご覧ください。


Spotify ソフトウェアには次のサードパーティのライセンスが適用されます。

www.spotify.com/connect/third-party-licenses

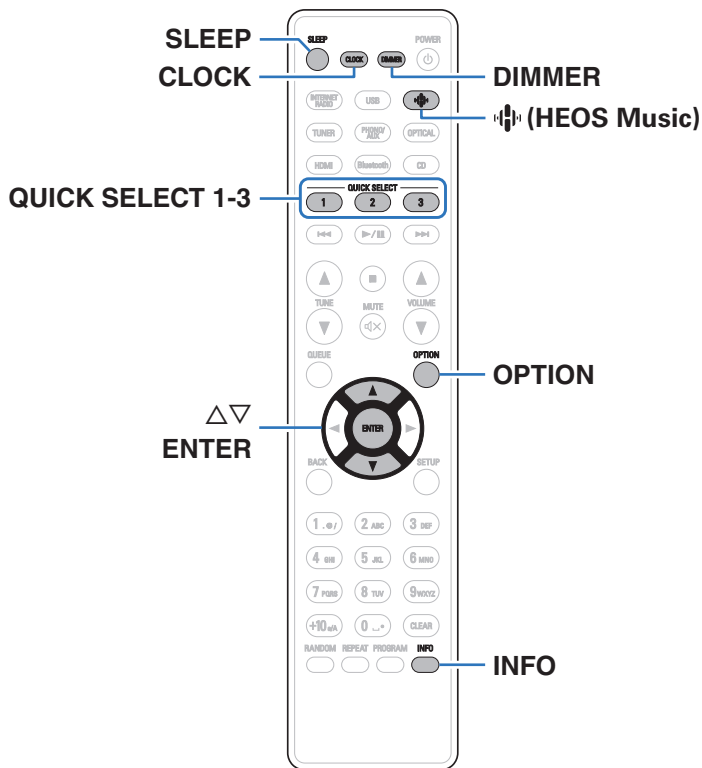


Spotify の曲を本機で再生する

あらかじめお手持ちの iOS または Android 機器に “Spotify アプリ” をダウンロードしてください。

- 1 iOS または Android 機器の Wi-Fi 設定を本機と同じネットワークに接続する。
- 2 Spotify アプリを起動する。
- 3 Spotify の曲を再生する。
- 4 Spotify アイコン  をタップして、本機を選ぶ。本機で再生をはじめます。

便利な機能




- ここでは、各入力ソースで使用できる便利な機能の操作方法を説明します。
- “HEOS お気に入り”に関する操作は、アプリを使用するとより便利におこなえます。アプリの入手方法については、「HEOS アプリをダウンロードする」(P.49 ページ)をご覧ください。

HEOS お気に入り再生する

本機で初めて HEOS お気に入り機能を使用する場合は、HEOS アプリで HEOS アカウントを作成するか、作成済みのアカウントにサインインしてください。HEOS アカウントを作成またはサインインすると、本機でお気に入りのストリーミングラジオ局を保存したり呼び出したりできる HEOS お気に入り機能を使用できます。

1 (HEOS Music) を押す。

再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。

2 $\Delta\nabla$ を押して “Favorites” を選び、ENTER を押す。

3 $\Delta\nabla$ を押して再生したいコンテンツを選び、ENTER を押す。

4 $\Delta\nabla$ を押して “すぐに再生” を選び、ENTER を押す。



- 0~9、+10 を使用して、HEOS お気に入りから再生したいコンテンツを選択することもできます。
- 本機が HEOS アプリの HEOS アカウントと同期していない場合、HEOS Music のトップメニューから Favorites を選べなくなります。

HEOS お気に入りに追加する

この機能はストリーミング配信のコンテンツにのみはたらきます。



1 コンテンツの再生中に OPTION を押す。

オプションメニュー画面を表示します。

2 $\Delta\nabla$ を押して “HEOS お気に入りに追加” を選び、ENTER を押す。


3 $\Delta\nabla$ を押して “HEOS お気に入り” に登録したい番号を選び、ENTER を押す。

HEOS お気に入り を削除する

- 1  (HEOS Music) を押す。
再生履歴がある場合は、最後に再生したインターネットラジオ局や楽曲を再生します。再度  (HEOS Music) を押すと、HEOS Music のトップメニューを表示します。
- 2 $\Delta\nabla$ を押して “Favorites” を選び、ENTER を押す。
- 3 HEOS お気に入りリスト表示中に $\Delta\nabla$ を押して、HEOS お気に入りリストから削除したい項目を選び、ENTER を押す。
- 4 $\Delta\nabla$ を押して “HEOS お気に入りから削除” を選び、ENTER を押す。

ディスプレイの明るさを切り替える


ディスプレイの明るさを 5 段階で調節できます。

- 1 DIMMER を押す。
 - ボタンを押すたびに、ディスプレイの明るさが切り替わります。
- 
- “消灯” 設定時にボタン操作をおこなうと、一時的に点灯します。
 - お買い上げ時のディスプレイの明るさは、最も明るい設定です。

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的に電源をスタンバイにします。音楽などを聴きながらおやすみになるときに便利です。

1 再生中に SLEEP を押して、設定時間を選ぶ。

- ディスプレイの  表示が点灯します。
- 設定時間は 10 分間隔で最大 90 分まで選択できます。
- 約 5 秒後、設定を確定しもとの表示に戻ります。

■ スリープタイマーを解除する

1 SLEEP を押して “Sleep ▶ オフ” を選ぶ。

ディスプレイの  表示が消灯します。



- 本機の電源がスタンバイになると、スリープタイマーの設定を解除します。
- スリープタイマーを設定した状態で SLEEP を押すと、スリープタイマーが動作するまでの残り時間を表示します。

現在の時刻を確認する

あらかじめ設定メニューの“時計”で現在時刻の設定をおこなってください。(P.92 ページ)

■ 電源オンのときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- もう一度 CLOCK を押すと通常の表示に戻ります。

■ 電源がスタンバイ状態のときに現在の時刻を確認する

CLOCK を押す。

- 現在の時刻を約 30 秒間表示します。



- 電源がスタンバイ状態のときは、時刻設定ができません。電源を入れてからおこなってください。
- スタンバイ状態で時計が表示されている時に INFO ボタンを押すと一時的にアラームの設定を表示します。あらかじめアラームを設定していない場合はアラーム表示しません。

クイックセレクト機能

QUICK SELECT 1～3 ボタンに入力ソース、音量レベル、設定メニューの“SDB/Tone”設定などを登録できます。

設定を登録した QUICK SELECT ボタンを押すだけで、登録したさまざまな設定を一度に切り替えることができます。

よく使う設定を QUICK SELECT 1～3 ボタンに登録しておく、常に同じ再生環境を簡単に呼び出してお楽しみいただくことができます。

■ 設定を呼び出す

1 QUICK SELECT を押す。

押したボタンに記憶している設定内容を呼び出します。

- お買い上げ時の入力ソースの設定は、次のとおりです。

ボタン	入力ソース
QUICK SELECT 1	インターネットラジオ
QUICK SELECT 2	チューナー
QUICK SELECT 3	Bluetooth



- お買い上げ時の音量は、QUICK SELECT ボタンに登録されていません。
クイックセレクト機能で音量を登録したい場合は、「設定を変更する」を参照しておこなってください。(P.81 ページ)

■ 設定を変更する

1 次の内容を登録したい設定にする。

- ① 入力ソース (P.33 ページ)
- ② 音量 (P.33 ページ)
- ③ 設定メニューの“SDB/Tone” (P.87 ページ)



- 次の入力ソースで、ラジオの受信中に QUICK SELECT を長押しすると、受信中のラジオ局を登録します。
 - チューナー/インターネットラジオ局/Spotify

2 変更したい QUICK SELECT を 3 秒以上長押しする。

“保存しました”を表示し、現在の設定を登録します。

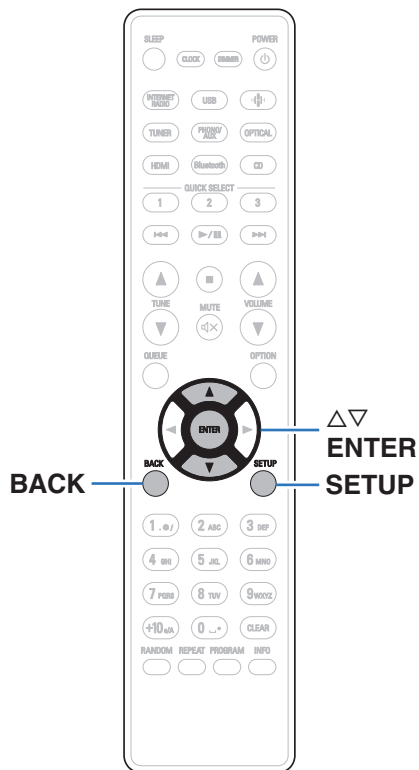
設定のしかた

設定メニュー 一覧

設定メニューの操作をおこなうときは、参照ページをご覧ください。
お買い上げ時の設定はおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズできます。

設定項目	詳細項目	内容	参照ページ
オーディオ	SDB/Tone	お好みの音質に調節します。	87
	音量の上限	音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。	87
	H/P アンプゲイン	ヘッドホンアンプのゲインを設定します。ご使用のヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定することで、ヘッドホン再生を適切な音量でお楽しみいただけます。	88
	スピーカーの最適化	弊社製スピーカー、SC-N10(別売り)に合わせた、スピーカー出力の特性変更や設定をします。	88
テレビ	テレビ入力	テレビの音声を本機で再生するときに設定します。	89
	HDMI パワーオフコントロール	テレビの電源オフ操作に連動して本機の電源がスタンバイになる、“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。	90

設定項目	詳細項目	内容/詳細項目	参照ページ	
一般	アラーム	アラーム再生を設定します。	91	
	時計	現在の時刻を設定します。	92	
	時計モード	スタンバイ時に時刻を表示する、時計モードの設定をします。	93	
	赤外線コントロール	お使いのテレビのリモコンに本機の各操作を割り振ります。お使いのテレビのリモコンを使用して、本機を操作できます。	93	
	CD の自動再生	ディスク挿入時に自動再生をおこなうかを設定します。	94	
	言語	ディスプレイに表示する言語を設定します。	94	
	オートスタンバイ	未使用時、本機の電源を自動的にスタンバイにします。	94	
	情報	お知らせの確認 また、電源をオンにしたときにお知らせを表示するかしないかを設定します。	お知らせの表示	95
			お知らせの確認	95
			リセット	各種設定がお買い上げ時の設定に戻ります。
	ネットワーク	ネットワーク情報	ネットワークの各種情報を表示します。	96
Wi-Fi		Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。	96	
Bluetooth		Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。Bluetooth 送信の設定をします。	97	
ネットワーク制御		スタンバイ時のネットワーク機能のオン/オフを設定します。	98	
AirPlay 設定		本機を WAC モードにします。iOS 機器を使用してネットワークに接続する際に設定します。	98	



設定メニューの操作のしかた

- 1 SETUP を押す。**
ディスプレイに設定メニューを表示します。
- 2 Δ / ∇ を押して設定または操作したい設定メニューを選び、ENTER を押す。**
- 3 Δ / ∇ を押して、お好みの設定に変更する。**
- 4 ENTER を押して、設定を確定する。**
 - 前の項目に戻るときは、BACK を押してください。
 - 設定メニューを終了するときには、設定メニュー表示中に SETUP を押してください。通常表示に戻ります。

文字入力

数字ボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

- 文字を変更する場合は、<▷> を押し変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 +10 を押して文字の種類(大文字、小文字、発音記号付きの文字、数字)を切り替える。

3 入力したい文字が表示されるまで、0~9、+10 を押す。

- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

1. 0/	1. @ - _ / :
2. ABC	abcABC2ääáâãäåæççÄÅÄÄÄÄÆÓÇÖ
3. DEF	defDEF3ðëèéêëÐËÉÊË
4. GHI	ghiGHI4ïíîíîíî
5. JKL	klIJKL5
6. MNO	mnoMNO6ñöòóóóøÑÖÓÓÓÓ
7. PQRS	pqrsPQRS7ßřššššßŘŘŠŠŠ
8. TUV	tuvTUV8üúúúúÜÜÜÜ
9. WXYZ	wxyzWXYZ9ýžžžžÝŽŽŽ
0. CLR	0 (空白) !"#%&'()*+;,<=>?[\]^` { }¡¢£¤¥©«¬®¯°±²³

4 手順2、3 をくり返して文字を入力し、ENTER を押して確定する。



- CLEAR を押すと、選択中の文字を消去できます。
- CLEAR を 3 秒以上長押しすると、すべての文字を消去できます。
- スペースを入れるときは、▶▶ を押してください。

カーソルボタンで入力する

1 文字の入力をおこなう画面を表示する。

- 文字を変更する場合は、◀▶ を押して変更したい文字にカーソルを合わせてください。

2 Δ▽ を押して文字を切り替える。

- 入力できる文字の種類は、次のとおりです。

<p>【小文字】 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz</p> <p>【大文字】 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ</p> <p>【記号】 ! " # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~ ¡ ¢ £ ¤ ¥ © « ¬ ± » ¿</p> <p>【小文字(発音記号付き)】 ääáâãäåæççĉĉđēēēēīīīīñōóóóøøßřřśšššűűúúýýžžþ</p> <p>【大文字(発音記号付き)】 ÄÄÁÁÄÄÆÉÇÇĎĎĚĚĚĚĪĪĪĪŃŃŌŌŌŌŐŐŔŔŚŚŠŠŦŦÚÚÚÚÝÝŽŽÞ</p> <p>【数字】 0123456789 (空白)</p>

3 手順2 をくり返して文字を入力し、ENTER を押して確定する。



- CLEAR を押すと、選択中の文字を消去できます。
- CLEAR を 3 秒以上長押しすると、すべての文字を消去できます。
- スペースを入れるときは、▶▶ を押してください。

オーディオ

音声に関する設定をします。

SDB/Tone

好みの音質に調節します。

■ Super Dynamic Bass

オン:	音量に応じて、低音域を強調します(最大+8dB)。
オフ (お買い上げ時の設定):	SDB(Super Dynamic Bass)機能を無効にします。

■ 低音

低音を調整します。

-10dB~+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

■ 高音

高音を調整します。

-10dB~+10dB(お買い上げ時の設定:0dB)

■ バランス

◀▶ を押して、左右の音量バランスを調整します。

■ ソースダイレクト

オン:	より原音に近い再生をおこないます。
オフ (お買い上げ時の設定):	ソースダイレクト機能を使用しません。

音量の上限

音量の上限を設定します。設定した音量以上は出力できません。

オフ
(お買い上げ時の設定): 音量の上限を設定しません。(100)

95 / 90 / 85 / 80

H/P アンプゲイン

ヘッドホンアンプのゲインを設定します。接続するヘッドホンのインピーダンスに合わせて設定してください。ヘッドホンのインピーダンスが低い場合は“低”側に、高い場合は“高”側に設定することをおすすめします。

高:	ヘッドホンアンプのゲインを“高”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が小さいと感じる場合に設定してください。
中 (お買い上げ時の設定):	ヘッドホンアンプのゲインを“中”に設定します。
低:	ヘッドホンアンプのゲインを“低”に設定します。お買い上げ時の設定では音量が大きいと感じる場合に設定してください。

ご注意

- H/P アンプゲインの設定に合わせて、ヘッドホンの音量が変動します。音声を聴きながら設定を変更する場合は、音量を下げるか消音にしてからおこなってください。

スピーカーの最適化

弊社製スピーカー(SC-N10、別売り)に最適な音声処理をおこない、音声信号を出力します。

オン (お買い上げ時の設定):	弊社製スピーカー(SC-N10、別売り)に最適な音声処理をおこないます。
オフ:	音声処理をおこないません。

テレビ

テレビ入力

テレビの音声を本機で再生するときに設定します。テレビの電源オン操作に連動して本機の電源がオンになり、自動的に入力ソースを“HDMI”または“Optical”に切り替えて、テレビの音声を本機で再生できます。

■ デフォルト入力

本機でテレビの音声を再生するときの入力ソースを設定します。テレビとの接続に使用する端子に合わせて設定してください(HDMI ARC または OPTICAL IN)。

無し / HDMI Out (ARC) / Optical In
(お買い上げ時の設定:HDMI Out(ARC))

■ 自動再生

本機にテレビの音声信号を入力すると、自動的に入力ソースを“デフォルト入力”で設定した入力ソースに切り替えて、テレビの音声を本機で再生する自動再生機能の設定をします。

オン
(お買い上げ時の設定): 自動再生機能を有効にします。

オフ: 自動再生機能を無効にします。



- “デフォルト入力”を“無し”に設定している場合は、自動再生機能ははたらきません。あらかじめ“デフォルト入力”の設定をおこなってください。
- 本機の OPTICAL IN 端子から入力された音声信号のサンプリング周波数が 88.2kHz 以上の場合、自動再生機能がはたらきません。テレビは一般的に 48kHz の音声信号を出力しますので自動再生機能がはたらきますが、88.2kHz 以上の音声信号を出力する機器を接続すると自動再生機能がはたらかない場合があります。

HDMI パワーオフコントロール

HDMI 接続しているテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がスタンバイになる“HDMI パワーオフコントロール”機能の設定をします。

すべて (お買い上げ時の設定):	本機の入力ソースに関わらず、テレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
HDMI ARC:	入力ソースが HDMI のときにテレビの電源をオフにすると、自動的に本機の電源がスタンバイになります。
オフ:	本機はテレビの電源に連動しません。

アラーム

設定した時刻に、設定した入力ソースの音声を再生できます。毎日同じ時刻に再生したり、お好みの曜日にアラーム再生したりすることができます。

■ アラーム 1

オン:	アラーム 1 機能を有効にします。
オフ:	アラーム 1 機能を無効にします。

■ アラーム 2

オン:	アラーム 2 機能を有効にします。
オフ:	アラーム 2 機能を無効にします。

■ アラームを編集

アラーム 1 またはアラーム 2 を編集します。

- 1 $\Delta\nabla$ を押して“アラーム 1”または“アラーム 2”を選び、ENTER を押す。
- 2 $\Delta\nabla$ を押してアラーム開始時刻を設定し、ENTER を押す。
- 3 $\Delta\nabla$ を押してお好みの設定を選び、ENTER を押す。

繰り返さない:	アラームをくり返ししません。(一度きりのアラーム)
毎日:	アラームを毎日くり返します。
平日:	アラームを平日(月~金)のみくり返します。
週末:	アラームを週末(土、日)のみくり返します。
その他:	アラームのオン/オフを曜日ごとに設定します。オンに設定した曜日のみアラームをくり返します。

4 $\Delta\nabla$ を押して入力ソースを選び、ENTER を押す。

CD / Tuner / HDMI / Optical / Phono / AUX



- “Tuner”を選んだ場合は、続いてプリセット番号を選びます。

5 $\Delta\nabla$ を押して音量の“0～100”を選び、ENTER を押す。

アラーム設定した内容を表示します。

6 表示された設定内容を確認し、ENTER を押す。

“設定を完了しました”を表示し、設定が完了します。

時計

■ 現在の時刻の合わせかた

本機はインターネットを利用して自動的に現在時刻を合わせることができます。



- この機能をご使用になるときは、インターネットに接続する必要があります。

1 $\Delta\nabla$ を押して、あなたの住んでいる地域の標準時刻(タイムゾーン)を選び、ENTER を押す。

2 $\Delta\nabla$ を押して夏時間を選び、ENTER を押す。

* 夏時間の設定は、必要に応じておこなってください。

オン: 夏時間をオンにします。

オフ
(お買い上げ時の設定): 夏時間をオフにします。

時計モード

スタンバイ時に時刻を表示する、時計モードの設定をします。

オン: スタンバイ時に時刻を表示します。

オフ
(お買い上げ時の設定): スタンバイ時に時刻を表示しません。



- “時計モード”を“オン”に設定している場合のスタンバイ時は、通常のスタンバイ時に比べて待機電力を多く消費します。

赤外線コントロール

お使いのテレビのリモコンに本機の各操作を割り振ります。お使いのテレビのリモコンを使って、本機を操作できます。

1 Δ を押して、お使いのテレビのリモコンでおこないたい本機の操作を選び、ENTERを押す。

ボリュームアップ / ボリュームダウン / ミュート / パワー オン
オフ / トグル / パワー オン / パワー オフ / Quick Select 1 / Quick Select 2 / Quick Select 3 / 入力 HDMI Out (ARC) / 入力 Optical In / 入力 AUX In



- チェックマークを表示している操作は、既にテレビのリモコンに割り振られています。異なるボタンに操作を割り振りたい場合は、チェックマークを表示している操作を選んだまま ENTER を押し、チェックマークを抹消してから設定してください。

2 ディスプレイの指示に従って設定する。

設定が完了したら、設定した本機の操作項目にチェックマークを表示します。

CDの自動再生

ディスクトレイを閉じたときに CD を検知し、自動で入力ソースを“CD”に切り替えて再生をはじめることができます。

オン (お買い上げ時の設定):	自動再生します。
オフ:	自動再生しません。

言語

ディスプレイに表示する言語を設定します。

日本語 / English(お買い上げ時の設定:日本語)

オートスタンバイ

入力信号がない状態で本機を操作しないときに、本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。

オフ (お買い上げ時の設定):	本機を自動的にスタンバイ状態にしません。
1分:	約 1 分後に本機をスタンバイ状態にします。
5分:	約 5 分後に本機をスタンバイ状態にします。
15分:	約 15 分後に本機をスタンバイ状態にします。
その他:	1~99 分の間で本機を自動的にスタンバイ状態にする時間を設定します。0~9、+10 ボタンを使用して時間を設定したあと、ENTER ボタンを押して設定を確認します。

情報

■ お知らせの表示

電源をオンにしたときにお知らせを表示するかしないかを設定します。

オン
(お買い上げ時の設定): 通知メッセージを表示します。

オフ: 通知メッセージを表示しません。

■ お知らせの確認

お知らせを表示します。

リセット

表示が正しくない場合や操作ができない場合などにおこないます。各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度設定をおこなってください。

お買い上げ時の設定に戻す: リセットします。

中止する: リセットしません。

ネットワーク

ネットワーク情報

ネットワークの情報を表示します。

フレンドリ名 / 接続 / SSID / DHCP / IP アドレス / MAC アドレス (Ethernet) / MAC アドレス (Wi-Fi)

Wi-Fi

Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。有線 LAN を使用して本機をネットワークに接続する場合に、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Wi-Fi 機能をオンにします。

オフ: Wi-Fi 機能をオフにします。

Bluetooth

■ Bluetooth

Bluetooth の受信機能と送信機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

オン
(お買い上げ時の設定): Bluetooth 機能をオンにします。

オフ: Bluetooth 機能をオフにします。

■ ヘッドホン

Bluetooth ヘッドホン送信機能の有効/無効を設定します。本機の音声を Bluetooth ヘッドホンで聴くときにおこなう設定です。

オン Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用します。

オフ
(お買い上げ時の設定): Bluetooth ヘッドホン送信機能を使用しません。

■ 出力モード

音声の出力方法を選択します。

ヘッドホン + スピーカー 音声は Bluetooth ヘッドホンとスピーカーに出力されます。
(お買い上げ時の設定):

ヘッドホン: 音声は Bluetooth ヘッドホンにのみ出力されます。

■ デバイス

- 本機に接続したい Bluetooth ヘッドホンがペアリングモードに入ると、使用可能な機器がデバイスリストに表示されます。リストから機器名を選択して本機とペアリングしてください。
- 本機に接続できる機器は 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth 機器を登録することができます。メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。
- 登録済みの機器をリストから削除したい場合は、△▽ ボタンを押して機器名を選択後、OPTION ボタンを押して“このデバイスの登録を解除”を選択してください。



- Bluetooth ヘッドホンの接続と同じ操作で A2DP プロファイル対応の Bluetooth スピーカーも接続できます。

ご注意

- Bluetooth 送信機能と Bluetooth 受信機能を同時に使用することはできません。Bluetooth 機器で音楽を聴いている場合、Bluetooth 送信機能は使用できません。
- “ヘッドホン”を“オン”に設定していても、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に設定すると、Bluetooth 受信機能が有効になります。スマートフォンなどの Bluetooth 機器に保存されている音楽を本機で再生したい場合は、リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを Bluetooth に切り替えてから Bluetooth 機器と再接続してください。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、このメニューは使用できません。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。

ネットワーク制御

電源がスタンバイ状態でのネットワーク機能の設定をします。

オン (お買い上げ時の設定):	スタンバイ時でも、ネットワーク機能を停止しません。ネットワーク対応のコントローラーを使用して本機を操作できます。
オフ:	スタンバイ時に、ネットワーク機能を停止します。



- HEOS アプリをご使用になる場合は、“ネットワーク制御”を“オン”に設定してください。

ご注意

- “ネットワーク制御”を“オン”に設定している場合は、スタンバイ時の待機電力を多く消費します。

AirPlay 設定

本機は、Apple 社の “WAC (Wi-Fi Accessory Configuration)” セットアップモードに対応しています。WAC セットアップモードでは、お手持ちの iOS デバイス (iPhone/iPod/iPad) を使用してネットワークに接続します。iOS デバイスと本機を接続することで、自動的に本機を同じネットワークに接続できます。

1. “AirPlay 設定” 選び、ENTER を押す。
 - 本機が WAC セットアップモードに切り替わります。
2. iOS デバイスの Wi-Fi 設定画面の下部にある “新しい AIRPLAY スピーカーを設定...” から “Denon CEOL” を選ぶ。
 - あらかじめ、iOS デバイスが無線 LAN (Wi-Fi) ルーターに接続していることを確認してください。
3. 本機を接続するネットワークを選び、“次へ” を押す。
4. 画面の指示に従って接続を完了する。
 - 接続が完了すると、ディスプレイに “接続しました” を表示します。

ご注意


- iOS 機器のファームウェアのバージョンが iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。
- WAC セットアップモードは約 15 分間続きます。15 分以内にセットアップが完了しない場合、WAC セットアップモードは自動的に解除されます。手動で WAC セットアップモードを解除する場合は、BACK ボタンを押してください。

ルーターのWPSボタンを使ってネットワークに接続する

WPS (Wi-Fi Protected Setup™)対応の無線ルーターをお使いの場合は、本機を『プッシュボタン方式』でネットワークに接続できます。(Wi-Fi Protected Setup™は Wi-Fi Alliance の商標です。)

- 1 ルーターの WPS ボタンを押す。
- 2 2 分以内に本機リアパネルの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押しする。
ディスプレイに “WPS 接続中” を表示して接続を開始します。
 - 接続が完了すると、ディスプレイに “WPS 接続しました” を表示します。



- リモコンの  (HEOS Music) ボタンを 5 秒以上長押しして、WPS セットアップモードにすることもできます。
- ネットワークの接続状況に応じて、リアパネルの CONNECT LED が点灯または点滅します。本機がネットワークに接続されていない場合は、オレンジ色に点灯します。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい	101
お好みの音質に調節したい	101
原音に忠実な再生をしたい	101
テレビの音声を高音質に再生したい	101
HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい	101
ディスプレイを消灯したい	102
時刻を常に表示したい	102
ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい	102
電源オフ状態から簡単に操作したい	102
誤って音量が大きくなるようにしたい	102

故障かな？と思ったら

電源が入らない / 電源が切れる	104
LED が点滅している	104
リモコンで操作ができない	106
本機のディスプレイが表示されない	106

音がまったく出ない	107
音が途切れたり、ノイズが入ったりする	108
希望する音が出ない	110
AirPlay 再生ができない	111
USB メモリーが再生できない	112
USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない	113
Bluetooth が再生できない	113
インターネットラジオが再生できない	116
パソコン内や NAS 内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)	117
各種オンラインサービスが再生できない	118
無線 LAN ネットワークに接続できない	118
ディスクが再生できない	119
デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)	120
入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる	120
HDMI コントロール機能がはたらかない	120
アップデート/アップグレードエラーメッセージ	121

こんなときの解決方法

高音質な再生を楽しみたい

- Wi-Fi 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Wi-Fi”を“オフ”に設定してください。(P.96 ページ)
- Bluetooth 機能を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑えます。設定メニューの“Bluetooth”を“オフ”に設定してください。(P.97 ページ)

お好みの音質に調節したい

- 設定メニューの“Super Dynamic Bass”、“低音”、“高音”および“バランス”を設定してください。(P.87 ページ)

原音に忠実な再生をしたい

- 設定メニューの“ソースダイレクト”を“オン”に設定してください。(P.87 ページ)

テレビの音声を高音質に再生したい

- 本機の HDMI ARC 端子にテレビを接続する場合、ARC 機能に対応した HDMI 入力端子に接続してください。(P.23 ページ)
- ARC 機能に非対応のテレビや、HDMI 端子が無いテレビと接続する場合、光デジタル接続でもテレビの音声を本機で再生できます。(P.23 ページ)
- 本機で再生できるデジタル音声信号は、2 チャンネルリニア PCM です。

HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機がスタンバイ状態にならないようにしたい

- “HDMI パワーオフコントロール”の設定を“オフ”にしてください。(P.90 ページ)

ディスプレイを消灯したい

- DIMMER ボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください。(☞79 ページ)

時刻を常に表示したい

- “時計モード”の設定を“オン”にすると、時刻を常に表示できます。(☞93 ページ)

ヘッドホンの音量をスピーカーの音量と合わせたい

- “H/P アンプゲイン”の設定を変えることで、スピーカーの音量を変えずにヘッドホンの音量のみを調節できます。(☞88 ページ)

電源オフ状態から簡単に操作したい

- リモコンの入カソース選択ボタン、▶/■ ボタン、QUICK SELECT ボタンおよび本体の ▲ ボタン、QUICK SELECT キー、▶/■/ENTER キーを押すと、起動と同時に各動作をおこないます。
- “ネットワーク制御”の設定を“オン”にすると、AirPlay や HEOS アプリから起動と同時に再生操作ができます。(☞98 ページ)

誤って音量が大きくなるようにしたい


- 設定メニューの“音量の上限”で音量の上限値をあらかじめ設定してください。小さな子供が誤って音量を上げすぎることを防ぎます。(☞87 ページ)

故障かな？と思ったら

最初に次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか



- 上記の手順 1～3 をおこなっても動作が改善しない場合、本機を再起動すると改善することがあります。
ディスプレイに“Restart”が表示されるまで、本体の  ボタンを押し続けるか、本機の電源コードを抜き差ししてください。

本機が正しく動作しないときは、該当する症状に従ってチェックしてみてください。

なお、どの症状にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でもお分かりにならない場合は、当社のお客様相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

電源が入らない / 電源が切れる

電源が入らない。

- コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。(P.30 ページ)
- 本機はスタンバイ状態です。本体の **⏻** ボタンを押すかリモコンの POWER **⏻** ボタンを押してください。(P.32 ページ)

電源が自動的に切れる。

- スリープタイマーが設定されています。再度電源を入れてください。(P.80 ページ)
- “オートスタンバイ”が設定されています。操作がない状態で一定時間が経過すると、“オートスタンバイ”が動作します。“オートスタンバイ”を無効にするには、設定メニューの“オートスタンバイ”を“オフ”に設定してください。(P.94 ページ)
- “HDMI パワーオフコントロール”が設定されています。HDMI 接続されたテレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源がオフ(スタンバイ)になります。“HDMI パワーオフコントロール”を無効にするには、設定メニューの“HDMI パワーオフコントロール”を“オフ”に設定してください。(P.90 ページ)

LED が点滅している

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 2 回赤色点滅している。

- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 3 回赤色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 4 回赤色点滅している。

- 機器内部の温度上昇により、保護回路がはたらいています。電源が切れている状態で、1 時間程度待ち、本機の温度が十分下がってから、電源を入れ直してください。
- 本機を風通しの良い場所に設置し直してください。
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 5 回赤色点滅している。

- スピーカーの接続を確認してください。スピーカーケーブルの芯線どうしが接触したり、芯線が端子から外れたりして、芯線が本機のリアパネルに接触したため、保護回路がはたらいている可能性があります。電源コードを抜き、芯線をしっかりとよじり直すか、端末処理をするなどしたあとで、接続し直してください。(P.20 ページ)
- 再生機器の再生を停止し、電源を入れ直してください。
- 電源を入れなおしても問題が解決しない場合は、本機のアンプ回路または電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源が切れ、電源表示が長く 1 回赤色点滅したあとに、短く 6 回赤色点滅している。

- 本機の電源回路が故障しています。電源コードを抜き、当社の修理相談窓口までご連絡ください。

電源表示が橙色に点滅している。

- 電源が一度切れたことなどにより時刻がずれています。ネットワーク接続を確認して時刻を設定してください。(P.92 ページ)

リモコンで操作ができない

リモコンで操作ができない。

- 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。(P.9 ページ)
- リモコンは、本機から約 7m および 30° 以内の範囲で操作してください。(P.9 ページ)
- 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。
- 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。(P.9 ページ)
- 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。
- 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の赤外線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。
- 設定メニューの“赤外線コントロール”でテレビなどのリモコンに本機の手動操作を割り振ることができますが、お使いのリモコンによっては“赤外線コントロール”機能に対応していない場合があります。(P.93 ページ)

本機のディスプレイが表示されない

ディスプレイの表示が消える。

- リモコンの DIMMER ボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。(P.79 ページ)

音がまったく出ない

音が出ない。または歪む。

- すべての機器の接続を確認してください。(☞19 ページ)
- 接続ケーブルを奥まで挿してください。
- 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。
- ケーブルが破損していないか確認してください。
- スピーカーケーブルが正しく接続されていることを確認してください。ケーブルの芯線がスピーカー端子の金属部に接触していることを確認してください。(☞20 ページ)
- スピーカー端子をしっかり締めてください。また、スピーカー端子の締め付けがゆるんでいないか確認してください。(☞20 ページ)
- 適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(☞33 ページ)
- 音量を適切な大きさに調節してください。(☞33 ページ)
- ミューティング(消音)モードを解除してください。(☞33 ページ)
- 外部機器から本機に音声を入力している場合、適切な入力ソースが選択されていることを確認してください。(☞33 ページ)
- 接続した機器のデジタル音声出力の設定を確認してください。機器によってはお買い上げ時の設定が“オフ”になっていることがあります。
- 本体のヘッドホン端子にヘッドホンのプラグを挿入していると、スピーカー端子から音が出なくなります。(☞12 ページ)
- ドルビーデジタル、DTS などリニア PCM 以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- Bluetooth 接続で再生する場合は、本機と Bluetooth 機器をペアリングしてください。(☞42 ページ)
- Bluetooth ヘッドホンを使用して“出力モード”を“ヘッドホン”に設定している場合、スピーカー端子や音声出力端子から音声は出力されません。Bluetooth ヘッドホンを使用しているときにスピーカー端子や音声出力端子から同時に音声を出力したい場合は、“出力モード”の設定を“ヘッドホン + スピーカー”に変更してください。(☞46 ページ)

音が途切れたり、ノイズが入ったりする

インターネットラジオや USB メモリーを再生中に、音が途切れることがある。

- USB メモリーの転送速度が遅いと音が途切れることがあります。
- ネットワークの通信速度が遅いか、ラジオ局が混雑しています。

携帯電話で通話すると、本機の音声出力にノイズが入る。

- 携帯電話を本機から 20cm 以上離して通話してください。

CD-R/CD-RW を再生中に音が途切れる。

- ハイレゾリューション音源が記録された CD-R/CD-RW を再生すると、音が途切れることがあります。
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。

Wi-Fi 接続時に音が途切れる。

- 無線 LAN で使用する周波数帯域は、電子レンジ・コードレスフォン・ゲーム機のワイヤレスコントローラー・その他の無線 LAN 機器で使われます。そのため、これらの機器と本機を同時に使用すると、電波干渉により音途切れが発生する場合があります。次の方法をおこなうと、音途切れが改善される場合があります。(P.28 ページ)
 - 干渉している機器を本機から離して設置する。
 - 干渉している機器の電源を切る。
 - 本機に接続しているルーターのチャンネル設定を変更する。(チャンネルの変更のしかたは、無線ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
 - 有線 LAN 接続に切り替える。
- 特にデータ容量の大きい音楽ファイルを再生するときなどに、ご使用の無線 LAN の環境によっては、再生音が途切れることがあります。その場合は有線 LAN 接続をおこなってください。(P.96 ページ)

FM 放送または AM 放送の雑音が多い。

- アンテナの向きや位置を変えてください。(P.26 ページ)
- 屋外アンテナを使用してください。(P.26 ページ)
- AM ループアンテナと本機を離してください。(P.26 ページ)
- アンテナと他の接続ケーブルを離してください。(P.26 ページ)

レコード再生のときに、音がひずむ。

- 針圧を調節してください。
- レコードの針先を確認してください。
- カートリッジを交換してください。

レコード再生のときに、“ブーン”という雑音がスピーカーから出力される。

- レコードプレーヤーが正しく接続されていることを確認してください。(☞24 ページ)
- レコードプレーヤーの近くにテレビや AV 機器などがあると、再生音に影響を受ける場合があります。レコードプレーヤーをテレビや AV 機器などから離して設置してください。

レコード再生のときに音量を大きくすると、“ワーン”という雑音がスピーカーから出力される。(ハウリング現象)

- レコードプレーヤーとスピーカーを離して設置してください。(☞24 ページ)
- スピーカーの振動が床を通してプレーヤーに伝わる場合があります。スピーカーの振動をクッションなどで吸収させてください。

希望する音が出ない

音量が上がらない。

- 音量の上限値が低く設定されています。設定メニューの“音量の上限”で上限値を設定してください。(☞87 ページ)

ヘッドホンの音量が小さい。

- インピーダンスの高いヘッドホンや感度の低いヘッドホンを使用するときは、設定メニューの“H/P アンプゲイン”の設定を“高”に切り替えてください。(☞88 ページ)

左右の音量バランスが悪い。

- 設定メニューの“バランス”を設定してください。(☞87 ページ)

サブウーハーから音が出ない。

- サブウーハーの接続を確認してください。(☞21 ページ)
- サブウーハーの電源を入れてください。

設定メニューの“SDB/Tone”の設定が反映されない。

- “Super Dynamic Bass”、“低音”および“高音”の設定は、音声出力およびサブウーハー出力には反映されません。
- 設定メニューの“ソースダイレクト”を“オフ”に設定してください。(☞87 ページ)
- 設定メニューの“SDB/Tone”設定は Bluetooth ヘッドホンの音声出力には反映されません。

AirPlay 再生ができない

iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac 上に AirPlay のアイコンが表示されない。

- 本機とパソコン/iPhone/iPod touch/iPad が同一のネットワーク(LAN)に接続されていません。本機と同一の LAN に接続してください。(☞ 28 ページ)
- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac が AirPlay 対応のファームウェアではありません。最新のファームウェアにアップデートしてください。

音が出ない。

- iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量が最小になっています。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の音量と本機の音量は連動しています。適切な値に設定してください。
- AirPlay の再生をしていないか、本機が選択されていません。iTunes/iPhone/iPod touch/iPad/Mac の画面で AirPlay アイコンをクリックして、本機を選択してください。(☞ 74 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad/Mac で AirPlay 再生時に音が途切れる。

- iPhone/iPod touch/iPad/Mac のバックグラウンドで起動しているアプリケーションを終了してから AirPlay 再生をしてください。
- 無線接続で外部の影響を受けている可能性があります。無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くするなどネットワーク環境を変更してください。

USB メモリーが再生できない

USB メモリーが認識できない。

- USB メモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。(☞25 ページ)
- マスストレージクラス対応の USB メモリーに対応しています。
- 本機は、USB ハブを経由した接続はできません。USB メモリーは直接接続してください。
- USB メモリーのフォーマットを“FAT32”または“NTFS”に設定してください。
- すべての USB メモリーの動作は保証できません。一部の USB メモリーは、認識できない場合があります。また、AC アダプターから電源供給できるタイプの USB 接続対応ポータブルハードディスクを使用する場合は、ハードディスクに AC アダプターを接続してください。

USB メモリー内のファイルを表示しない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(☞39 ページ)
- 本機が表示できるファイルのフォルダ階層は最大 8 階層です。また、1 階層あたり最大 5000 ファイル(フォルダ)です。USB メモリーのフォルダ構成を変更してください。
- USB メモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。

iOS および Android 機器が認識できない。

- 本機の USB 端子は、iOS および Android 機器の再生には対応していません。

USB メモリー内のファイルを再生できない。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞129 ページ)
- 著作権保護のかかったファイルを再生しようとしています。本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- ファイルサイズが 2MB を超えるアルバムアートを使用している場合、再生できない場合があります。

USB メモリー内のファイル名が正しく表示されない

ファイル名が “...” など、正しく表示されない。

- 表示できない文字が使われています。故障ではありません。本機で表示できない文字は、“.”(ピリオド)”に置き換えて表示します。

Bluetooth が再生できない

本機に Bluetooth 機器が接続できない。

- Bluetooth 機器の Bluetooth 機能が有効になっていません。Bluetooth 機器の取扱説明書をご覧ください、Bluetooth 機能を有効にしてください。
- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- Bluetooth 機器が A2DP プロファイルに対応していない場合、本機と接続できません。
- ご使用の Bluetooth 機器の電源を入れ直してから、再度接続をお試しください。
- 設定メニューの“Bluetooth”を“オン”に設定してください。“Bluetooth”を“オフ”に設定している場合は、Bluetooth 機能がはたらかきません。(P.97 ページ)

スマートフォンなどの Bluetooth 機器と接続できない。

- “ヘッドホン”を“オン”に設定している場合は、スマートフォンなどの Bluetooth 機器を接続できません。リモコンの Bluetooth ボタンを押して入力ソースを“Bluetooth”に切り替えてから Bluetooth 機器を接続してください。(P.97 ページ)

Bluetooth ヘッドホンを接続できない。

- Bluetooth ヘッドホンを本機に近づけてください。
- Bluetooth ヘッドホンの電源を入れ直してからお試しください。
- 設定メニューの“ネットワーク” - “Bluetooth”の設定で、“ヘッドホン”を“オン”に設定してください。(P.97 ページ)
- 本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されていないことを確認してください。設定メニューの“デバイス”設定で、Bluetooth ヘッドホンの接続状態を確認できます。(P.97 ページ)
本機が別の Bluetooth ヘッドホンに接続されている場合は、現在接続されている Bluetooth ヘッドホンを切断してから、使用したい Bluetooth ヘッドホンを接続してください。
- 入力ソースを Bluetooth に設定している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- 本機が HEOS アプリでグループ化されている場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。Bluetooth ヘッドホンを使用する場合は、本機をグループから外してください。
- 本機の入力ソースを他の HEOS 機能搭載機器が再生している場合、Bluetooth ヘッドホンは接続できません。
- Bluetooth ヘッドホンが A2DP プロファイルに対応していない場合は、本機に接続することはできません。
- 著作権保護技術(SCMS-T)に対応した Bluetooth ヘッドホンのご使用をおすすめします。すべての Bluetooth 機器に対して接続や動作を保証するものではありません。
- 本機に接続できる Bluetooth ヘッドホンは 1 台です。最大 8 台まで Bluetooth ヘッドホンを登録することができます。設定メニューの“Bluetooth” - “デバイス”から登録済みの機器を切り替えることができます。(P.97 ページ)

音が途切れる。

- 本機と Bluetooth 機器を近づけてください。
- 本機と Bluetooth 機器の間にある障害物を取り除いてください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- Bluetooth の再接続操作をおこなってください。

Bluetooth ヘッドホンを使用すると音が途切れる、またはノイズが発生する。

- Bluetooth ヘッドホンの本機に近づけてください。
- 本機と Bluetooth ヘッドホンの間にある障害物を取り除いてください。
- Bluetooth ヘッドホンを再接続してください。
- 電波干渉がおきないように、電子レンジや無線 LAN 機器および他の Bluetooth 機器から本機を離してください。
- 本機および他の機器のルーターへの接続は、有線 LAN 接続をおすすめします。
- Bluetooth は 2.4GHz 帯域を使用しており、Wi-Fi の 2.4GHz 帯域の電波と干渉する可能性があります。使用しているルーターの Wi-Fi が 5GHz 周波数帯域に対応している場合、本機および他の機器の Wi-Fi 接続を 5GHz 周波数帯域に変更してください。

Bluetooth ヘッドホンの音声が遅延する。

- 本機は Bluetooth ヘッドホンの音声遅延を調節することはできません。

インターネットラジオが再生できない

ラジオ局のリストが表示されない。

- LAN ケーブルが正しく接続されていないか、ネットワークが切断されています。接続状態を確認してください。(☞ 28 ページ)

インターネットラジオが再生できない。

- 選択したラジオ局が、本機に対応していないフォーマットで放送されています。本機で再生できるフォーマットは WMA、MP3 と MPEG-4 AAC です。(☞ 135 ページ)
- ルーターのファイアウォールがはたらいています。ファイアウォールの設定を確認してください。
- ルーターの電源が入っているか確認してください。
- 時間帯により無音放送になっているラジオ局があります。この場合、音声は出力しません。しばらく経ってから選択するか、別のラジオ局を選択してください。(☞ 35 ページ)
- ラジオ局が放送を停止しています。放送中のラジオ局を選択してください。

お気に入りに登録したラジオ局に接続できない。

- ラジオ局がサービスを停止しています。放送中のラジオ局を登録してください。

パソコン内やNAS内の音楽ファイルが再生できない(ミュージックサーバー)

パソコンに保存してある音楽ファイルが再生できない。

- ファイルが対応しているフォーマット以外で記録されています。対応しているフォーマットで記録してください。(p.134 ページ)
- 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。
- 本機のUSB端子にパソコンを接続しても、パソコン内の音楽ファイルは再生できません。パソコンはネットワーク経由で本機に接続してください。(p.28 ページ)
- メディアの共有設定が正しくありません。本機がアクセスできるように設定を変更してください。詳しくはメディアの取扱説明書をご覧ください。

サーバーが見つからないか、サーバーに接続できない。

- パソコンまたはルーターのファイアウォールがはたらいています。接続しているパソコンまたはルーターのファイアウォールの設定を確認してください。
- パソコンの電源が入っていません。電源を入れてください。
- サーバーが起動していません。サーバーを起動してください。

パソコン内やNAS内のファイルが表示されない。

- 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。(p.134 ページ)

NASに保存した曲が再生できない。

- DLNA 準拠のNASをご使用の場合は、NASの設定でDLNAサーバー機能を有効にしてください。
- DLNAに準拠していないNASをご使用の場合は、パソコンを経由して再生してください。また、Windows Media Playerのメディア共有機能設定をおこない、再生対象フォルダにNASを追加してください。
- 接続を制限している場合は、オーディオ機器を接続対象にしてください。

各種オンラインサービスが再生できない

各種オンラインサービスが再生できない。

- サービスが終了している可能性があります。

無線 LAN ネットワークに接続できない

ネットワークに接続できない。

- HEOS 機能搭載機器の設定をおこなう前に、スマートフォン/タブレットが無線 LAN ネットワークでホームネットワークに接続されていることを確認してください。(P.50 ページ)
- LAN ケーブル(市販)を使用して、本機をネットワークルーターに接続できます。LAN ケーブルで接続すると HEOS アプリは本機を認識しますので、“Settings” - “My Devices” - (“デバイス名”) - “ネットワーク”から接続する無線 LAN ネットワーク名を選び、手動で接続してください。
- 無線 LAN のアクセスポイントからの距離を短くしたり、障害物をなくしたりして、見通しをよくしてから接続し直してください。また、電子レンジや他のネットワークのアクセスポイントから離して設置してください。
- アクセスポイントのチャンネル設定を、他のネットワークで使用しているチャンネルから離して設定してください。
- 本機は WEP(TSN)との互換性はありません。

WPS ルーターに接続ができない。

- ルーターの WPS モードが動作しているか確認してください。
- ルーターの WPS ボタンを押してから 2 分以内に、本機リアパネルの CONNECT ボタンを 5 秒以上長押ししてください。(P.99 ページ)
- WPS2.0 規格に対応したルーター/設定が必要です。暗号化タイプを“無し”、“WPA-PSK(AES)”または“WPA2-PSK(AES)”に設定してください。
- ルーターの暗号化方式が WEP/WPA-TKIP/WPA2-TKIP のいずれかの場合は、WPS ボタンを使用して接続することはできません。HEOS アプリで接続するか、iOS 端末の Wi-Fi 設定を共有して接続してください。(P.99 ページ)

iPhone/iPod touch/iPad を使用したネットワーク接続ができない。

- iPhone/iPod touch/iPad を最新のファームウェアにアップデートしてください。
- また、無線接続で設定する場合は、iOS 10.0.2 以降に対応している必要があります。

ディスクが再生できない

再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。

- ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。(☞132 ページ)

CD-R/CD-RW が再生できない。

- ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。(☞126 ページ)
- 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。
- 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞127 ページ)

“No Disc” と表示される。

- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“No Disc”を表示します。

“System Error” と表示される。

- ディスクやフォーマットに起因しないエラーが起きた場合には、“System Error”を表示します。当社の修理相談窓口までご連絡ください。

“Can't Read Disc” と表示される。

- 本機が対応していないディスクを入れたり、汚れや傷のあるディスクを入れたりして本機がディスクを読み込めない場合には、“Can't Read Disc”を表示します。ディスクを確認してください。

“Wrong Format” と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットで作成されている場合には、“Wrong Format”を表示します。本機が対応しているフォーマットを確認してください。(☞127 ページ)

デジタル機器の音声を再生できない(HDMI/Optical)

“入力無し”と表示される。

- デジタル音声信号を正しく検出できない場合は、“入力無し”を表示します。(P.70 ページ)

“非対応です”と表示される。

- 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“非対応です”を表示します。ご使用のデジタル機器の音声出力信号フォーマットを確認してください。(P.70 ページ)
- HDMI ARC 経由でのテレビ音声の再生は、PCM 2 チャンネルのみ対応しています。テレビの設定で音声フォーマットを“PCM 2ch”に設定してください。

入力ソースが“HDMI”または“Optical”に切り替わる

本機に接続しているテレビの電源を入れると入力ソースが“HDMI”または“Optical”に自動的に切り替わる。

- 設定メニューの“自動再生”を“オフ”に設定してください。(P.89 ページ)


HDMI コントロール機能がはたらかない

HDMI コントロール機能がはたらかない。

- HDMI コントロール機能に対応していない機器は操作できません。また、接続する機器や設定によっては、HDMI コントロール機能が動作しない場合があります。その場合は、外部機器を直接操作してください。
- 本機に接続しているテレビの HDMI コントロール機能の設定が有効になっているか確認してください。

アップデート/アップグレードエラーメッセージ

アップデート/アップグレードが中断または失敗した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ディスプレイ	内容
Connection failed. Please check your network, then try again.	ネットワークの回線が不安定です。 サーバーとの接続に失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Update failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Upgrade failed. Please check your network, then try again.	ファームウェアのダウンロードに失敗しました。 ご使用のネットワーク環境をご確認のうえ、アップデートを再試行してください。
Please check your network, unplug and reconnect the power cord, and try again.	アップデートに失敗しました。 本体の  ボタンを 5 秒以上長押しするか、電源コードを挿入し直してください。 アップデート後は自動的に再起動します。
Please contact customer service in your area.	機器が故障している可能性があります。 お客様相談センターにお問い合わせください。

目次

接続のしかた

再生のしかた

設定のしかた

困ったときは

付録

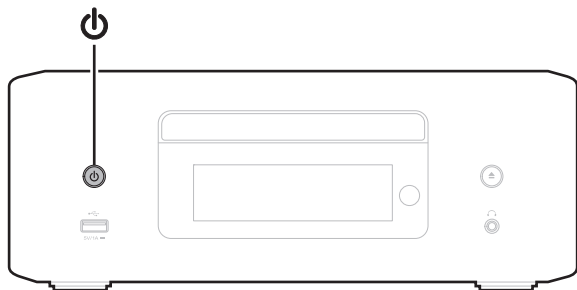
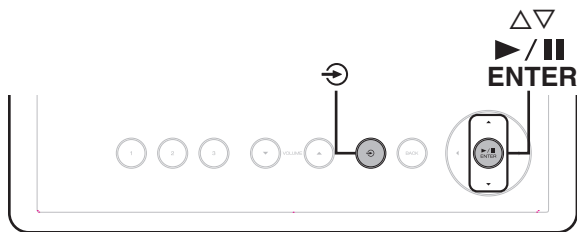
ネットワークの設定をお買い上げ時の設定に戻す







ネットワークコンテンツの再生やネットワーク接続ができない場合に、本機を再起動すると、改善することがあります。お買い上げ時の設定に戻す前に、再起動することをおすすめします。(P.103 ページ)

再起動しても動作が改善しない場合に、この操作をおこなってください。

ネットワーク設定内容がお買い上げ時の設定になります。再度設定をおこなってください。

ただし、設定メニューの“オーディオ”の設定は、リセットされません。



- 1 本体の  を押して、本機の電源を入れる。
- 2 本体の  をタッチして“HEOS”を選ぶ。
- 3 本体の  をタッチして“Internet Radio”、“Music Servers”または“USB Music”を選ぶ。
- 4 本機の電源が入っているときに、本体の  /  / ENTER をタッチしながら  を3秒以上長押しする。
- 5 ディスプレイに“しばらくお待ちください”が表示されたら、2つのボタンから指を離す。
- 6 リセットが完了すると、ディスプレイに“完了しました”を表示する。

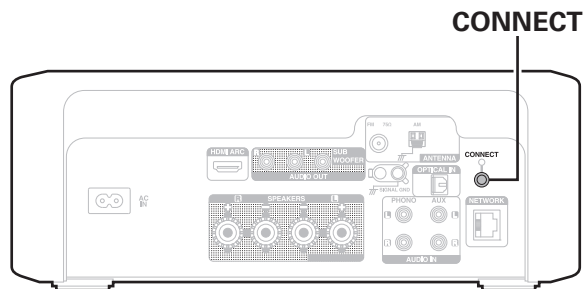
ご注意

- リセットが完了するまで、電源を切らないでください。

ファクトリーリストア

本機やネットワーク機能が正しく動作しない場合に、お買い上げ時のファームウェアに復元すると改善できる場合があります。設定メニューの“一般” - “リセット”を試しても動作しない場合にこの操作をおこなってください。(P.95 ページ)

ファクトリーリストアをおこなうと各種設定内容がお買い上げ時の設定に戻ります。再度ネットワーク設定およびファームウェアのアップデートをおこなってください。



- 1 電源コードをコンセントから抜く。
- 2 CONNECT を押しながら、電源コードを差し込む。
- 3 ディスプレイに“Factory Restore”が表示されたら、ボタンから指を離す。

ファクトリーリストアが完了するとディスプレイに“Factory Restore Completed”が約 5 秒間表示され、本機を自動的に再起動します。



- この操作はネットワークへの再接続、ファームウェアの復元およびアップデートを伴うため時間がかかります。
- この操作をおこなっても改善できない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

ご注意

- ファクトリーリストアが完了するまで、電源を切らないでください。

警告

ファクトリーリストアを開始すると、本機に制限付きリカバリーファームウェアがインストールされます。インターネット経由でファームウェアのアップデートがおこなわれるまで、機能は制限されたままです。本機をネットワークに接続していない場合は、ファクトリーリストアをおこなわないでください。

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

■ 修理料金のしくみ

- 技術料……故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費・技術教育費・測定機器などの設備費・一般管理費などが含まれます。
- 部品代……修理に使用した部品代金です。
その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
- 出張料……製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。
別途駐車料金をいただく場合があります。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 修理お問い合わせ窓口へご相談ください。
- 出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるためのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号……保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

ディスクの再生について

再生できるメディア	
CD	
CD-R	
CD-RW	

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズしていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生します。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

フォルダ数とファイル数の合計: 512 個

最大フォルダ数: 256 個

■ ファイル形式

MPEG-1 Audio Layer-3

WMA(Windows Media Audio)

■ タグ情報

ID3 タグ(Ver.1.x と 2.x)

META タグ(タイトル、アーティストおよびアルバムに対応)

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
MP3	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.mp3
WMA	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.wma

ご注意

- ファイルには必ず拡張子を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- Mac OS で作成したファイルの中で、ファイル名の先頭に “.” が付いているファイルは、音楽データでないため再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
 - インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数は、ファイルおよびフォルダ名の長さやフォルダの階層数などの条件により、変わります。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイル名のアルファベット順に再生します。

CD-R/CD-RW

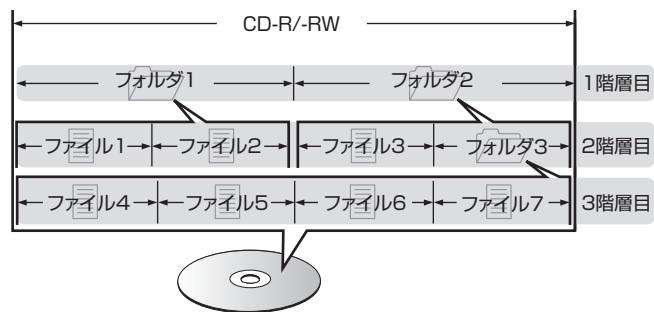
CD-R および CD-RW に記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ……、の順番に再生します。



- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

CD-R/CD-RW に記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り(フォルダ)と小さな区切り(ファイル)に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 16 階層まで認識できます。



- 音楽ファイルを CD-R/CD-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

USB メモリーの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/Apple Lossless/DSD)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

*1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。

インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

*2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>) に基づいて配布されています。

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

本機で表示できるフォルダやファイルの制限数は次のとおりです。

項目	メディア	USB メモリー
フォルダの階層数 *1		8 階層
フォルダ数		500
ファイル数 *2		5000

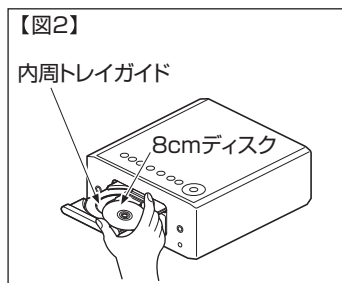
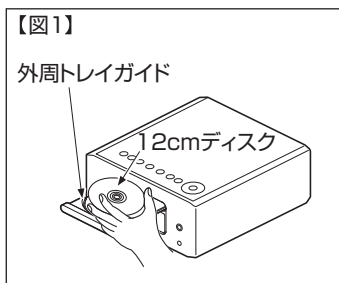
*1 制限数にはルートフォルダを含みます。

*2 USB メモリーの容量やファイルサイズにより、許容ファイル数が変わる場合があります。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド(図 1)に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド(図 2)に合わせて、水平に載せてください。



- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて載せてください。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイにはディスク以外の物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

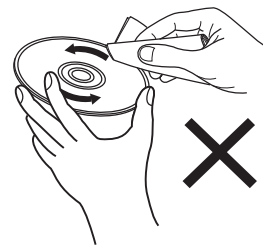
- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- USB メモリーの再生中に USB メモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USB メモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USB メモリーやファイルが壊れることがあります。USB メモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形した USB メモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ず USB メモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。



円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

デジタル入力

■ 再生できる音声信号の仕様

□ HDMI ARC/Optical

	サンプリング周波数	ビット長
リニア PCM (2 チャンネル)	32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	16/24 ビット

Bluetooth 機器の再生について

本機は、次の Bluetooth プロファイルに対応しています。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、モノラルやステレオの音声データを高品質にストリーミング配信することができます。
- AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile):
この規格に対応している Bluetooth 機器を接続すると、本機から Bluetooth 機器を操作することができます。

■ Bluetooth 通信について

本機からの電波放送は、医療機器の操作を妨げることがあります。電波干渉は故障の原因となるため、次の場所では本機と Bluetooth 機器の電源を必ず切ってください。

- 病院、電車、航空機、ガソリンスタンドや可燃性ガスを発生する場所
- 自動ドアや火災報知機の近く

パソコンやNASに保存されているファイルの再生について

- MP3 ID3 タグ(バージョン 2.0)に対応しています。
- WMA META タグに対応しています。
- アルバムアートの画素サイズ(ピクセル)が 500×500(WMA/MP3/WAV/FLAC)または 349×349(MPEG-4 AAC)を超えている場合は、正しく再生できないことがあります。
- ネットワーク経由での音楽ファイルの再生には、そのフォーマットの配信に対応したサーバーまたはサーバーソフトウェアが必要です。

Twonky Media Server や jRiver Media Server などのサーバーソフトウェアをネットワーク経由で再生するには、このオーディオフォーマットをパソコンや NAS にインストールする必要があります。利用可能な他のサーバーソフトウェアもあります。サポートされている形式を確認してください。

■ 再生できるファイルの仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA*1	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
WAV	32/44.1/48/88.2/96/ 176.4/192kHz	-	.wav
MPEG-4 AAC*1	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/.m4a
FLAC	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.flac
Apple Lossless*2	44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHz	-	.m4a
DSD	2.8/5.6MHz	-	.dsf/.dff

- *1 著作権保護のないファイルのみ再生できます。
インターネット上の有料音楽サイトからダウンロードしたコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンで CD などからリッピングする際に WMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- *2 Apple Lossless Audio Codec (ALAC) デコーダは Apache License Version 2.0(<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>)に基づいて配布されています。

インターネットラジオの再生について

■ 再生できる放送局の仕様

	サンプリング周波数	ビットレート	拡張子
WMA	32/44.1/48kHz	48~192kbps	.wma
MP3	32/44.1/48kHz	32~320kbps	.mp3
MPEG-4 AAC	32/44.1/48kHz	48~320kbps	.aac/ .m4a

ラストファンクションメモリー

スタンバイにする直前の各種設定を記憶します。

HDMI について

本機は次の HDMI 機能に対応しています。

- **ARC(Audio Return Channel)機能**

ARC 機能対応のテレビと本機を HDMI 接続するだけで、テレビの映像や音声を楽しめます。

- **HDMI コントロール機能**

HDMI コントロール機能対応のテレビと本機を HDMI 接続し、テレビの HDMI コントロール機能の設定を有効にすると、機器間で相互にコントロールできます。

- **入力ソースの切り替え**

テレビの電源をオンにすると、自動的に本機の電源もオンになり、本機の入力ソースがテレビに切り替わります。

- **電源オフ連動**

テレビの電源オフ操作に連動して、本機の電源もオフになります。

- **音量調節**

テレビのリモコンを使用して、本機の音量を調節できます。

- **音声出力先の切り替え**

本機の電源がオンになると、テレビの音声は本機から出力されます。本機の電源がオフになると、テレビの音声はテレビのスピーカーから出力されます。



- 接続しているテレビによっては、動作しない機能があります。

用語の解説

■ 音声

Apple Lossless Audio Codec

Apple 社が開発した音声可逆圧縮方式のコーデックです。iTunes や iPod、iPhone で再生が可能です。約 60～70%に圧縮されたデータは完全に元どおりのデータに再現できます。

DSD(Direct-Stream Digital)

音声データ記録方式の1つで、スーパーオーディオ CD にオーディオ信号を格納する信号形態で、 Δ - Σ 変調されたデジタルオーディオです。

FLAC(Free Lossless Audio Codec)

可逆圧縮方式のフリーの音声ファイルフォーマットです。可逆圧縮のため、原音からの音質の劣化がありません。FLAC のライセンスについては、次のとおりです。

Copyright(C)

2000,2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007,2008,2009 Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MP3(MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD レベルの音質を保ったまま、約 1/11 のデータ容量に圧縮しています。

MPEG(Moving Picture Experts Group)、MPEG-2、MPEG-4

デジタル圧縮形式として映像や音声を符号化するために使用される規格群の名前です。ビデオの規格には、「MPEG-1 Video」、「MPEG-2 Video」、「MPEG-4 Visual」、「MPEG-4 AVC」などがあります。音声の規格には、「MPEG-1 Audio」、「MPEG-2 Audio」、「MPEG-4 AAC」などがあります。

WMA(Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード(符号化)できます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波(アナログ信号)を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化(デジタル信号化)することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

スピーカーインピーダンス

交流抵抗値のことで Ω (オーム) という単位であらわします。この値が小さいほど大きな電力が得られます。

ビットレート

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビットのデータに処理したかを表します。この数値が大きいほど音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなります。

■ ネットワーク

AirPlay

iTunes または iPhone、iPod touch、iPad、Mac に収録されているコンテンツをネットワーク経由で対応する機器に転送(再生)する機能です。

WEP Key(ネットワークキー)

データ通信をおこなう際にデータを暗号化するために使用する鍵情報です。本機はデータの暗号化/復号化ともに同一の WEP キー(ネットワークキー)を用いるため、通信する相手と同一の WEP キーを設定する必要があります。

Wi-Fi®

無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。

WPA(Wi-Fi Protected Access)

Wi-Fi アライアンスが策定したセキュリティ規格です。従来の SSID(ネットワーク名)や WEP キー(ネットワークキー)に加えて、ユーザー認証機能や暗号化プロトコルを採用して、セキュリティを強化しています。

WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

Wi-Fi アライアンスが策定した WPA の新バージョンです。WPA と比べ、より強力な AES 暗号に対応しています。

WPA/WPA2 パーソナル

あらかじめ設定した文字列が無線 LAN アクセスポイントとクライアントで一致した場合、相互認証をおこなう簡易認証の方式です。

WPA2/WPA3 パーソナル

WPA2/WPA3 パーソナルモードは Wi-Fi Alliance®によって定義されています。ユーザーの混乱を最小限に抑え、WPA2 パーソナルのみのデバイスとの相互運用性を維持しながら WPA3 パーソナルへの段階的な移行パスを提供します。

WPA3 パーソナル

WPA2-Personal Pre-Shared Key (PSK) 認証を Equals の同時認証 (SAE) に置き換えます。PSK とは異なり、SAE はオフライン辞書攻撃に耐性があります。

ネットワーク名 (SSID: Service Set Identifier)

無線 LAN のネットワークを構成するとき、混信やデータの盗難などを防ぐために、グループ分けをします。このグループ分けを「SSID (ネットワーク名)」でおこないます。さらにセキュリティ強化のために、WEP キーを設定し、「SSID」と WEP キーが一致しないと通信できないようになっています。簡易ネットワークを構成する場合に適しています。

■ その他

ファイナライズ

DVD/CD などのレコーダーで収録したディスクを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

ペアリング

ペアリング (登録) とは、Bluetooth 機器と本機を接続するために必要な操作です。ペアリングすると互いの機器が認証し合うので、混線することなく接続できます。

はじめて Bluetooth 機器を接続する場合は、最初に本機と本機に接続する Bluetooth 機器をペアリングする必要があります。

保護回路

何らかの原因で過負荷や過電圧、高温状態などの異常が起きたときに、電源内部の部品が破損するのを防止する機能です。

登録商標について



Apple, AirPlay, iPad, iPad Air, iPad Pro, iPhone and Mac are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.

Use of the Works with Apple badge means that an accessory has been designed to work specifically with the technology identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.



Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、DEI Sales, Inc.はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。



Wi-Fi CERTIFIED ロゴは、Wi-Fi Alliance の登録商標です。無線 LAN の互換性接続を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示します。



HDMI, HDMI High-Definition Multimedia Interface, HDMI のトレードドレスおよび HDMI ロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。



App Store®は、米国およびその他の国における登録商標です。



Google Play および Google Play ロゴは、Google LLC の商標です。

主な仕様

■ オーディオ部

• CD プレーヤー部

再生周波数特性:

10 Hz~20 kHz

ワウ・フラッター:

測定限界(±0.001% W.peak)以下

サンプリング周波数:

44.1kHz

• オーディオ部

定格出力:

2チャンネル

65W + 65W(4Ω、1kHz T.H.D 0.7%)

実用最大出力:

80W + 80W(4Ω、1kHz T.H.D 10%、JEITA)

出力端子:

スピーカー:負荷 4~16Ω

ヘッドホン/ステレオヘッドホン適合

トーンコントロール:

SDB: +8dB(100Hz)

低音: ±10dB(100Hz)

高音: ±10dB(10kHz)

• AUX

入力感度/インピーダンス:	200mV/30k Ω
周波数特性:	10Hz~40kHz(\pm 3dB)
S/N 比(10W、4 Ω 、IHF-A):	90dB
全高調波歪率(1kHz、5 W、4 Ω):	0.1%

• PHONO

入力感度/インピーダンス:	2.5mV/47k Ω
周波数特性:	RIAA 偏差(20Hz-20kHz)
S/N 比(IHF-A):	74dB

■ チューナー部

	[FM]	[AM]
受信周波数帯域:	76.0MHz~95.0MHz	522kHz~1629kHz
実用感度:	1.2 μ V/75 Ω	20 μ V
FM ステレオ分離度:	42dB(1kHz)	
FM S/N 比:	モノラル:70dB ステレオ:70dB	
FM 全高調波歪率(1kHz):	モノラル:0.4% ステレオ:0.4%	

■ 無線 LAN 部

ネットワーク種類(無線 LAN 規格):	IEEE 802.11a/b/g/n/ac に対応 (Wi-Fi®準拠)*1
セキュリティ:	WEP 64bit, WEP 128bit WPA/WPA2-PSK(AES) WPA/WPA2-PSK(TKIP) WPA3-SAE(AES)
使用周波数帯域:	2.4GHz, 5GHz

*1 Wi-Fi®準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「WiFi Alliance」の相互接続性テストに合格していることを示します。

■ Bluetooth 部

通信システム:	Bluetooth バージョン 5.4
送信出力	Bluetooth Specification Power Class 1
最大通信範囲:	見通し距離 約 30m *2
使用周波数帯域:	2.4GHz
変調方式:	FHSS (Frequency-Hopping Spread Spectrum)
対応プロファイル:	受信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4 AVRCP(Audio Video Remote Control Profile) 1.5 送信機能 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.4
対応コーデック:	SBC
伝送範囲(A2DP):	20Hz~20,000Hz

*2 実際の通信範囲は機器間の障害物、電子レンジの電磁波、静電気、コードレスフォン、受信感度、アンテナの性能、操作システム、アプリケーションソフトウェアなどの影響により異なります。

■ 時計/アラーム/スリープ

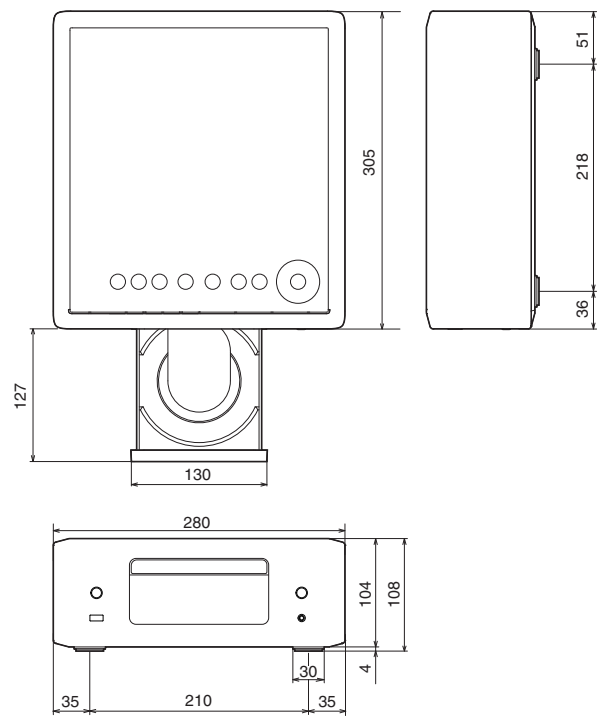
時計方式:	電源周波数同期方式(月差±60 秒以内)
アラーム:	ワンスアラーム/エブリディアラーム:各 1 系統
スリープ:	スリープタイマー:最大 90 分

■ 総合

動作温度:	+5 ℃~+35 ℃
電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	55W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W
“ネットワーク制御”-“オン”時の消費電力:	2W

- JEITA: (社)電子情報技術産業協会(略称:JEITA)が制定した規格です。
- 仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)



■ 重量:3.4kg

索引

A	
AirPlay	73
B	
Bluetooth 機器	42
C	
CD	60
H	
HEOS アカウント	52
HEOS お気に入り	78
N	
NAS	36, 134
S	
Spotify	76
U	
USB メモリー	25, 39

い	
インターネットラジオ	34
お	
オートスタンバイ	94
こ	
故障かな?と思ったら	103
こんなときの解決方法	101
す	
スリープタイマー	80
せ	
設定メニュー一覧	82
て	
ディスプレイの明るさ	79
に	
入力ソース	33
ね	
ネットワークの設定	96

は	
パソコン	28, 36, 134
ふ	
プログラム再生	62
フロントパネル	10
へ	
ペアリング	42
む	
無線 LAN の接続	29
も	
文字入力	85
ゆ	
有線 LAN	28
り	
リアパネル	13
リモコン	15

当社製品のご相談と修理についてのお問い合わせは、お買い上げ店または下記窓口にご連絡ください。

お客様相談センター

 0570 (666) 112 または 050 (3388) 6801

FAX : 044 (330) 1367

■ 受付時間 10 : 00 ~ 18 : 00

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ お問い合わせをいただく前に、ホームページのFAQをご確認ください。


<https://www.denon.jp/ja-jp/support/home>

■ メールでお問い合わせをいただくこともできます。

<https://www.denon.jp/ja-jp/contact-us>


* 電話番号・ファックス番号・URL は変更になる場合があります。

修理相談窓口

 0570 (666) 811

■ 受付時間 9 : 30 ~ 12 : 00、13 : 00 ~ 17 : 30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

■ 上記番号がご利用いただけない場合  0466 (86) 9520

■ 故障・修理・その他のサービス関連情報については、次の当社ホームページでもご確認いただけます。

https://www.denon.jp/ja-jp/support/service_network

■ 代表修理窓口

首都圏サービスセンター

〒 252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2010-16

FAX : 0466 (86) 9522

* ディーアンドエムホールディングス本社では製品の修理を受け付けておりません。
お持ち込みいただいても受け取ることができませんのでご了承ください。

DENON®

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

〒 210-8569

神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1 D&M ビル

Printed in China 5411 12065 10AS
©2023 DEI Sales, Inc. All Rights Reserved.